

第60期 決算データ分析資料

令和4年(2022)12月期

発行元: **トラスコ中山株式会社** 証券コード: 9830(「苦は去れ」と覚えてください)

経営管理本部 経営企画部 広報IR課

〒105-0004
東京都港区新橋四丁目28番1号 トラスコ フィオリートビル10F
TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881
E-mail: info@trusco.co.jp

目次

第60期 令和4年(2022)12月期

P3	会社概要
P4	ビジネスフロー
P5-9	A 全社経営成績
P10-19	B 販売実績
P20-26	C 財務等実績
P28-35	D 各種 重要指標
P36-41	E 第61期 経営計画
P42-45	F ESG情報
P47-50	G 参考資料



本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

会社概要

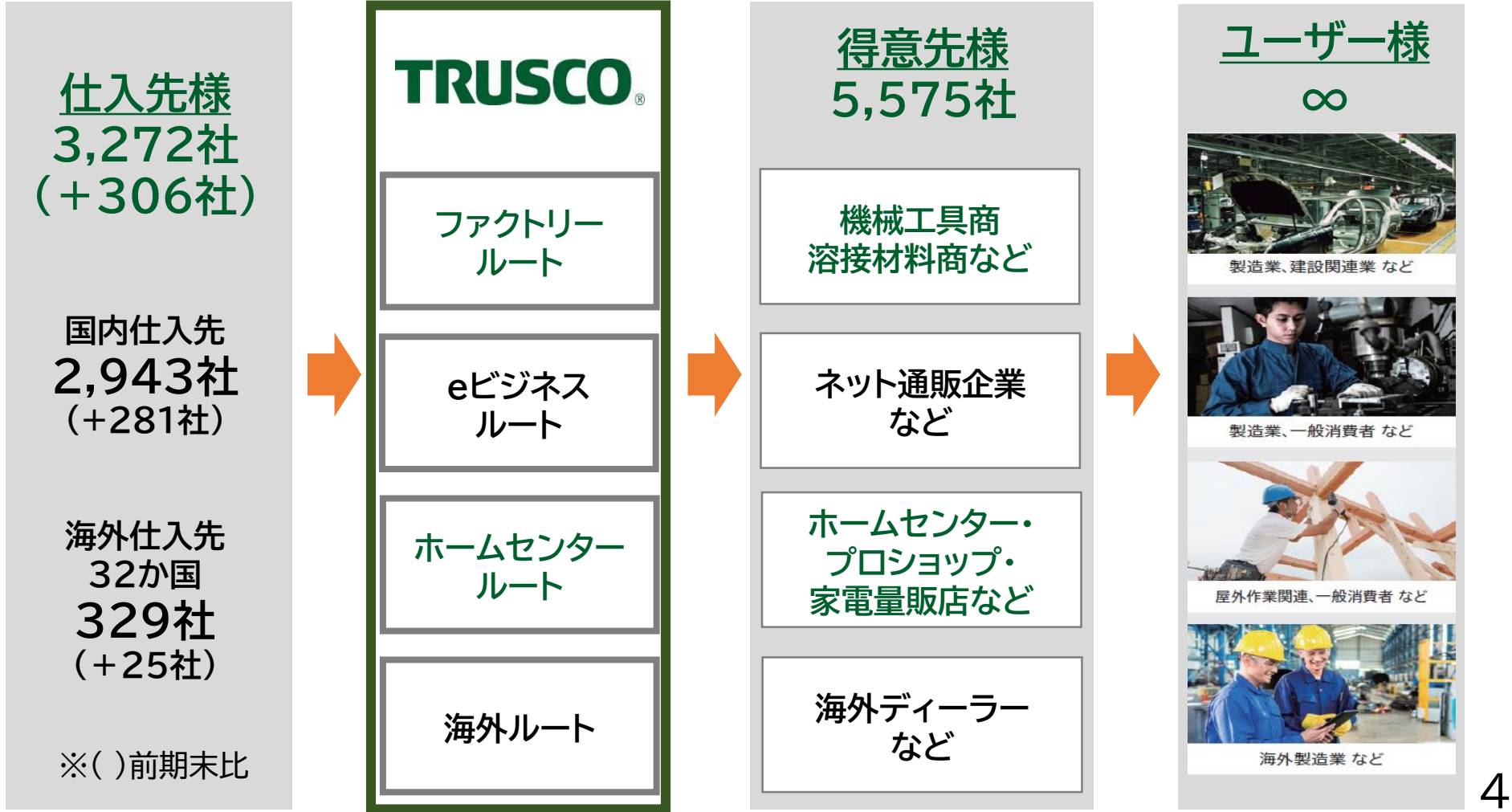
創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計94か所 国内拠点89か所(本社2か所、国内営業拠点59か所、国内物流拠点28か所) 海外拠点5か所(現地法人:トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア、 仕入先開拓オフィス:ドイツ、台湾、タイ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証プライム(証券コード:9830)
従業員数	2,954名【連結】
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業 及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

■企業メッセージ

「がんばれ!!日本のモノづくり」®

ビジネスフロー

当社はプロツールを仕入先様から仕入れ、機械工具商やネット通販企業、ホームセンターなどの得意先様へ販売する専門商社です。当社を介することで、プロツールを日本中のモノづくり現場へ、早くスムーズに、確実にお届けすることができます。卸(問屋)に徹し、得意先様・仕入先様及びユーザー様の利便性を向上させる独自のビジネスモデルを構築しています。





A. 全社経営成績

P6 A-1. 決算ハイライト

P7 A-2. 【連結】経営成績

P8 A-3. 【連結】月次売上高

P9 A-4. 【連結】セグメント別月次売上高



A-1.決算ハイライト

■第60期の実績について

<実績>

売上高:2,464億53百万円(前年比+8.6%) 販管費:374億93百万円(+8.1%)

営業利益:146億67百万円(前年比+12.8%)

- ・ ユーザー様直送やMROストッカーの取組み強化により、eビジネスルートをはじめとした大手得意先様の当社へのルート集約につながり、売上を押し上げました
 - ・ 原材料不足などから、仕入先様の減産や値上げが続く一方で、在庫拡充を継続的に実施し、販売の機会損失を防ぐことで販売量が増加しました
 - ・ 物価高による生活支援としての社員への臨時賞与の支給や水道光熱費の上昇により、販売管理費が押し上がった一方で、全社レベルで、残業、備品購入など経費削減の取組みを実施しました（削減額約5億円）
- ・ 結果として、売上および各種利益項目についても期初の計画を達成しました

■第61期の見通しについて

通期見通し:2,650億90百万円(前年比+7.6%)

- ・ 「荷合わせ・ユーザー様直送」、「MROストッカー」修理工房「直治郎」など当社独自の取組みを強化することで更なる売上拡大を目指す。

A-2.【連結】経営成績

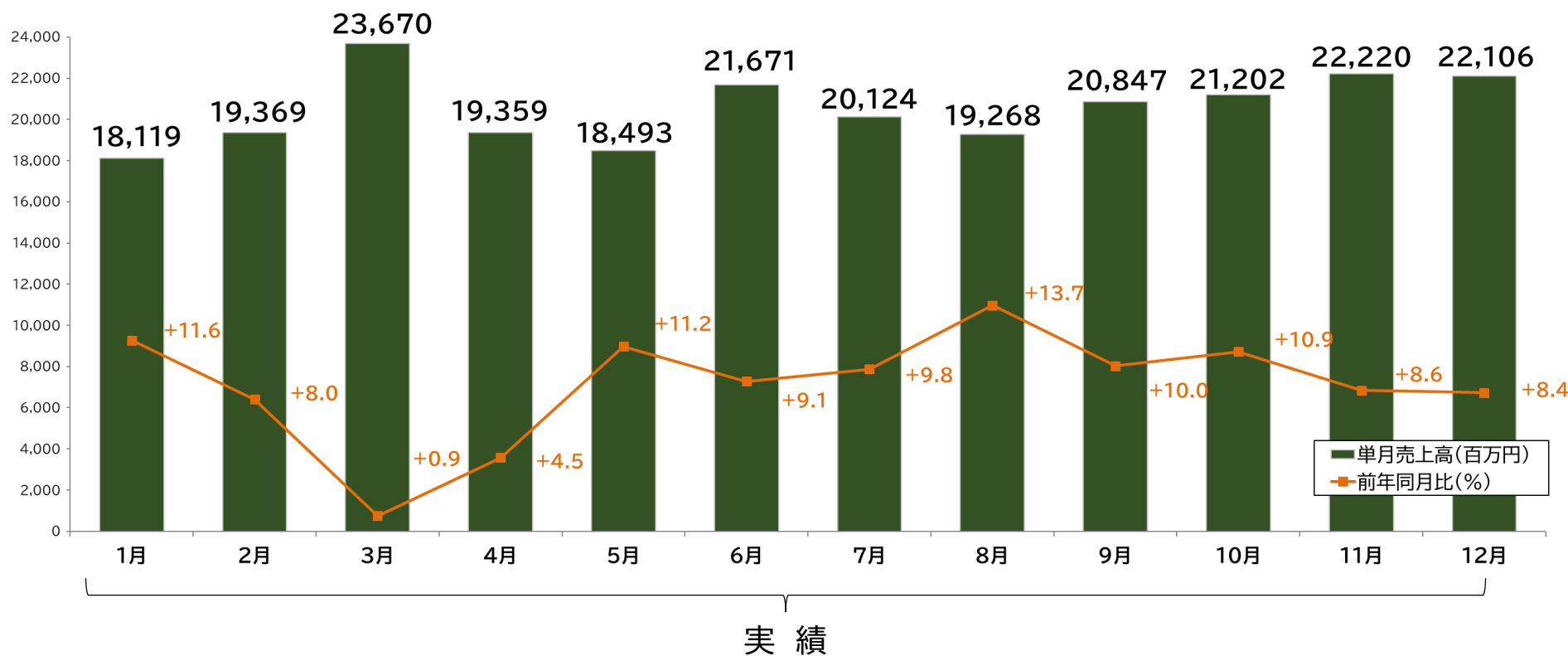
	令和3年(2021)12月期 通期		令和4年(2022)12月期 通期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年比	予算比
売上高	2,268億33百万円	-	2,464億53百万円	-	+8.6%	+1.2%
売上総利益	476億70百万円	21.0%	521億60百万円	21.2%	+9.4%	+0.9%
販売費及び 一般管理費	346億73百万円	15.3%	374億93百万円	15.2%	+8.1%	+0.1%
(うち減価償却費)	69億29百万円	3.1%	66億67百万円	2.7%	△3.8%	△2.7%
営業利益	129億97百万円	5.7%	146億67百万円	6.0%	+12.8%	+2.9%
経常利益	135億55百万円	6.0%	150億65百万円	6.1%	+11.1%	+3.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	115億96百万円 不動産の売却により約34億円を 特別利益として計上	5.1%	106億26百万円	4.3%	△8.4%	+6.7%
1株当たり 当期純利益	175円86銭	—	161円15銭	—	△14円71銭	+10円11銭
1株当たり 配当金	35円50銭	—	40円00銭	—	+4円50銭	+2円00銭
PB売上高	434億45百万円	19.2%	458億76百万円	18.6%	+5.6%	△1.6%
設備投資額	87億99百万円	—	47億99百万円	—	—	—

令和3年12月期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

A-3.【連結】月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、8月、12月の営業日数が前年と比較し増加しております。

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高を重要視しております。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。



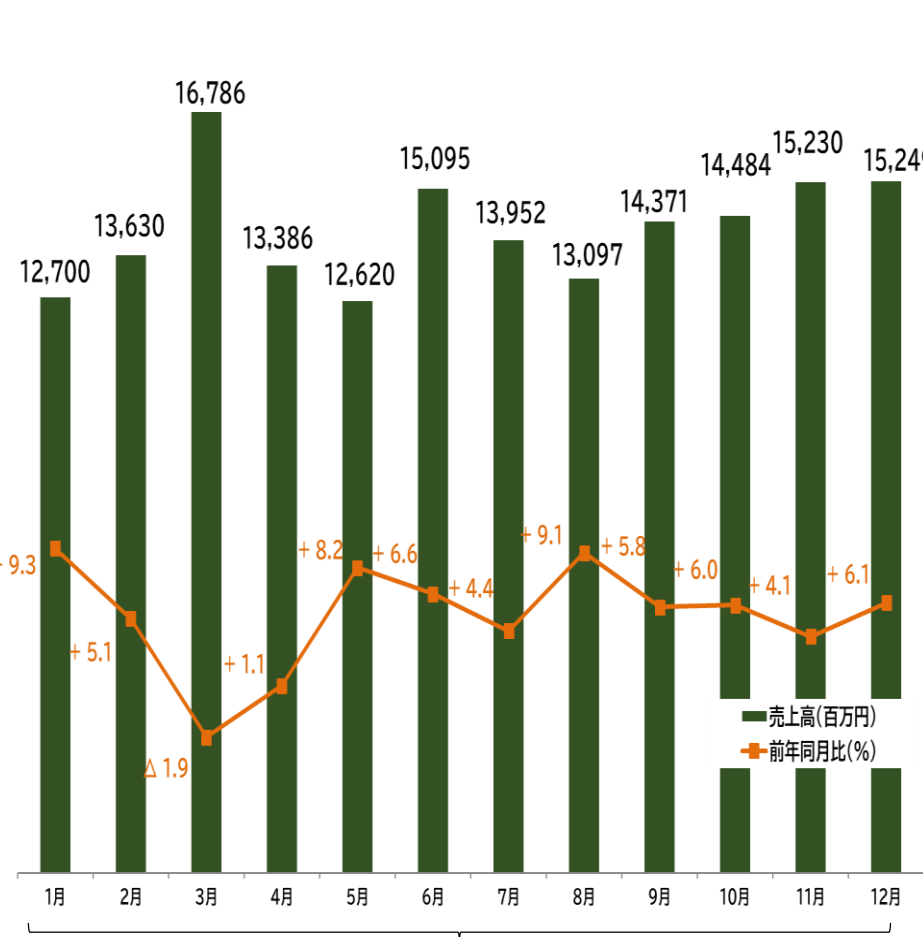
1日当たり売上高(百万円)	1,006	1,076	1,075	967	973	985	1,006	875	1,042	1,060	1,111	1,004	1,014
---------------	-------	-------	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	18	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	22	243
前年同月比(日)	±0	±0	△1	△1	+1	±0	±0	+3	±0	△1	±0	+2	+3

A-4.【連結】セグメント別月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、8月、12月の営業日数が前年と比較し増加しております。

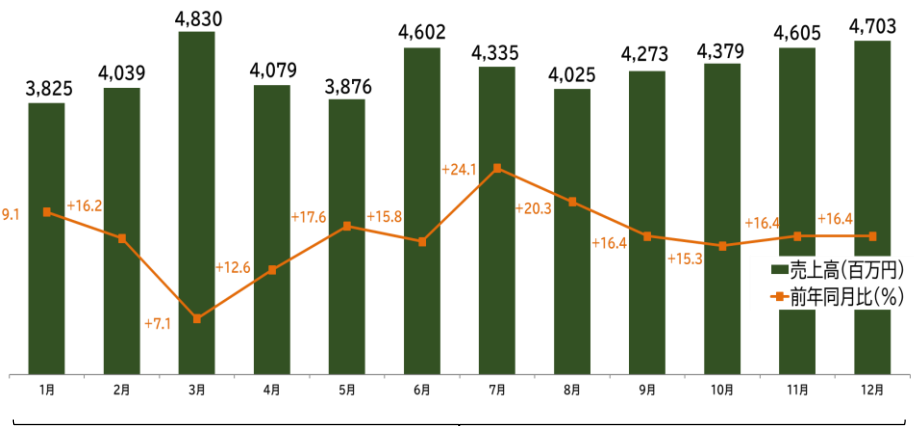
Iファクトリールート



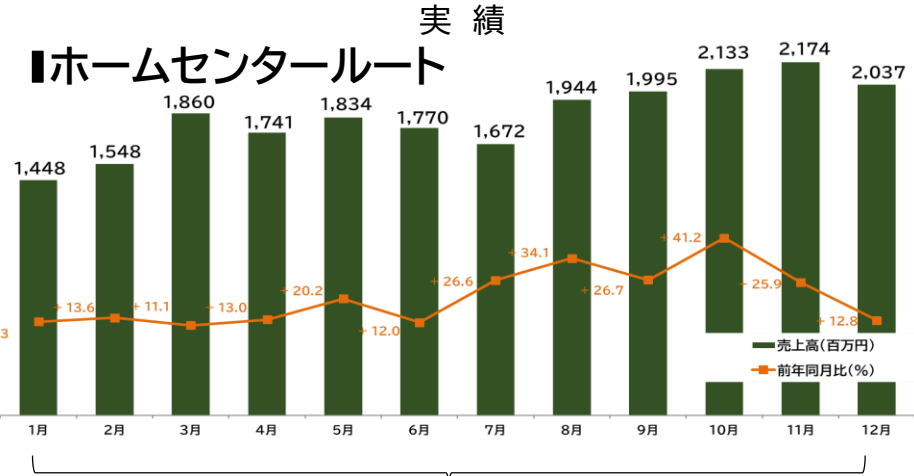
実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	18	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	22	243
前年同月比(日)	±0	±0	△1	△1	+1	±0	±0	+3	±0	△1	±0	+2	+3

IIeビジネスルート



IIIホームセンタールート



実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	18	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	22	243
前年同月比(日)	±0	±0	△1	△1	+1	±0	±0	+3	±0	△1	±0	+2	+3



B.販売実績

P11 B-1.【連結】セグメント別実績

P12 ・ファクトリールート

P13 ・eビジネスルート

P14 ・ホームセンタールート

P15 ・子会社業績

P16 B-2.【親単体】売上分析

P17 B-3.【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

P18 B-4.【親単体】商品分類別売上高

P19 B-5.【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高



B-1.【連結】セグメント別実績

	令和3年(2021)12月期			令和4年(2022)12月期							
	売上高		売上 総利益率	売上高						売上総利益率	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年比	予算	予算差額	予算比	実績	前年比
ファクトリー ルート	1,623億79百万円	71.6%	20.5%	1,706億06百万円	69.2%	+5.1%	1,717億82百万円	△11億75百万円	△0.7%	21.2%	+0.7pt
eビジネス ルート	443億93百万円	19.6%	23.5%	515億76百万円	20.9%	+16.2%	500億97百万円	+14億79百万円	+3.0%	22.1%	△1.4pt
ホームセンター ルート	183億66百万円	8.1%	18.6%	221億62百万円	9.0%	+20.7%	194億55百万円	+27億06百万円	+13.9%	17.4%	△1.2pt
海外 ルート	16億94百万円	0.7%	33.0%	21億08百万円	0.9%	+24.4%	21億64百万円	△56百万円	△2.6%	35.8%	+2.8pt
全社合計	2,268億33百万円	100%	21.0%	2,464億53百万円	100%	+8.6%	2,435億00百万円	+29億53百万円	+1.2%	21.2%	+0.2pt

令和3年12月期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

B-1.【連結】セグメント別実績 ファクトリールート

業種別売上高

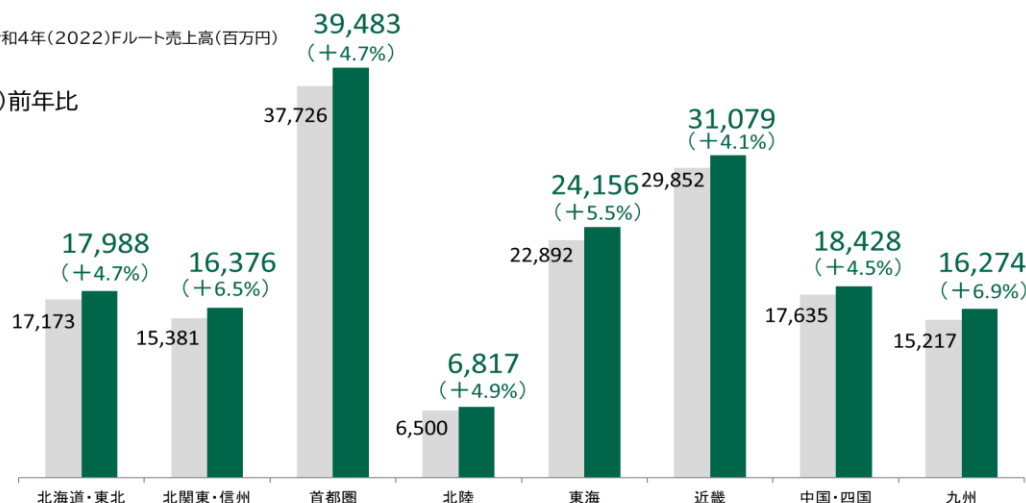
販売ルート	令和3年(2021)12月期			令和4年(2022)12月期				
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年比	実績	前年比
機械工具商	822億51百万円	50.7%	20.2%	869億08百万円	50.9%	+5.7%	21.9%	+1.7pt
溶接材料商	230億67百万円	14.2%	20.8%	242億06百万円	14.2%	+4.9%	20.2%	△0.6pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	271億01百万円	16.7%	20.1%	279億42百万円	16.4%	+3.1%	19.9%	△0.2pt
建設関連	299億59百万円	18.5%	21.3%	315億48百万円	18.5%	+5.3%	21.1%	△0.2pt
ファクトリールート合計	1,623億79百万円	100.0%	20.5%	1,706億06百万円	100.0%	+5.1%	21.2%	+0.7pt

ブロック別売上高

■ 令和3年(2021)フルート売上高(百万円)

■ 令和4年(2022)フルート売上高(百万円)

() 前年比



ファクトリールート前年比: +5.1%

当社の商品、物流、システムをご利用いただくことが、得意先様のご要望にお応えすることとなり、売り上げのベースアップに繋がりました。

工場内でいつでも商品調達が可能となる「MROストッカー」や「ユーザー様直送サービス」「修理工房 直治郎」の取り組みを強化するなど、環境負荷軽減にもつながる営業活動を実施しました。

B-1.【連結】セグメント別実績 eビジネスルート

業種別売上高

	令和3年(2021)12月期			令和4年(2022)12月期				
販売ルート	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年比	実績	前年比
通販企業向け	347億90百万円	78.4%	22.5%	401億48百万円	77.8%	+15.4%	20.9%	△1.6pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け、MROストッカー	96億03百万円	21.6%	27.2%	114億28百万円	22.2%	+19.0%	26.3%	△0.9pt
eビジネスルート合計	443億93百万円	100.0%	23.5%	515億76百万円	100.0%	+16.2%	22.1%	△1.4pt

eビジネスルート前年比: +16.2%

約316万アイテムに及ぶ商品データベースの整備とシステム連携の強化また、通販会社様・電子購買連携企業様それぞれのご要望にお応えした物流のご対応により利便性向上を実現し、当社へのご注文が大きく増加しました。

通販企業向け業種別売上高構成比



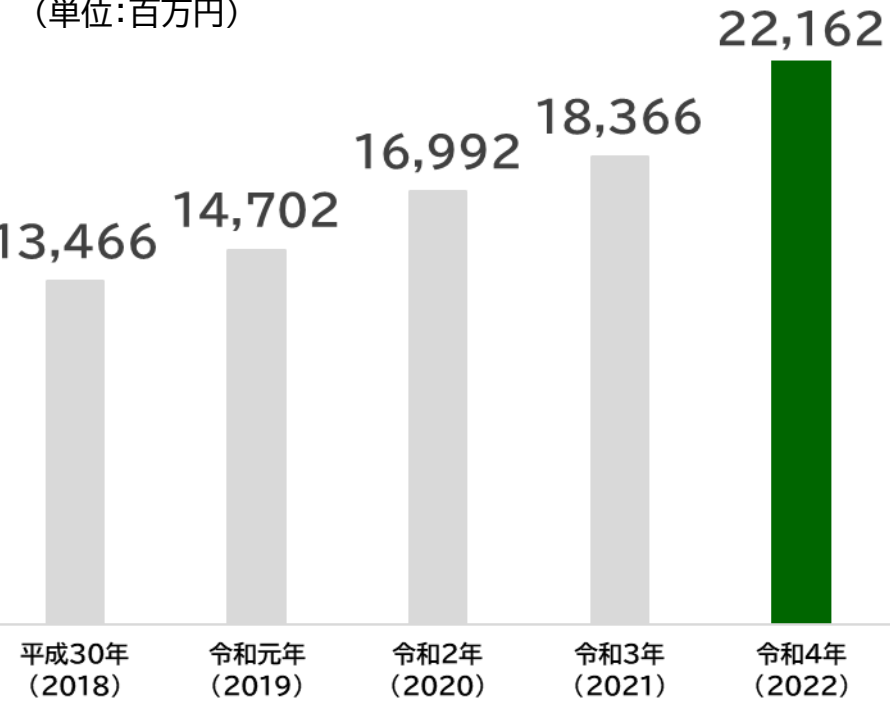
B-1.【連結】セグメント別実績 ホームセンタールート

業種別売上高

	令和3年(2021)12月期		令和4年(2022)12月期			
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率	
	実績	実績	実績	前年比	実績	前年比
ホームセンタールート	183億66百万円	18.6%	221億62百万円	+20.7%	17.4%	△1.2pt

ホームセンタールート 売上高推移

(単位:百万円)



ホームセンタールート前年比: +20.7%

店舗とECの連携した取組による新規での商品納入権獲得及び商流集約や、当社との親和性の高いプロの職人さんや工員さんをターゲットにした店舗であるプロショップでの売上が増加しました。当社の約316万に及ぶ取扱いアイテム数と約56万アイテムの即納在庫を活用していただき、店舗の品揃え、ECサイトの充実を図り、引き続き売上拡大を予想しています。

※令和2年12月期以前の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

B-1.【連結】セグメント別実績 子会社業績

■単体売上高

	トラスコ中山 親単体				トラスコナカヤマ タイランド				トラスコナカヤマ インドネシア			
	令和4年(2022)12月期			通期予算	令和4年(2022)12月期			通期予算	令和4年(2022)12月期			通期予算
	金額	率	前年比	前年比	金額	率	前年比	前年比	金額	率	前年比	前年比
売上高	2,458億99百万円	—	+8.6%	+7.2%	8億47百万円	—	+16.4%	+26.1%	4億44百万円	—	+34.2%	+20.8%
売上総利益	517億82百万円	21.1%	+9.2%	+8.4%	1億96百万円	23.1%	+18.5%	+32.1%	1億31百万円	29.5%	+54.6%	+29.7%
販売費及び一般管理費	371億94百万円	15.1%	+8.1%	+8.1%	1億59百万円	18.8%	+12.4%	+16.8%	1億39百万円	31.4%	+2.9%	+3.7%
内、減価償却費	65億93百万円	2.7%	△3.9%	△1.2%	24百万円	2.9%	+10.4%	+16.0%	50百万円	11.3%	+2.6%	+1.6%
営業利益	145億88百万円	5.9%	+12.1%	+9.4%	36百万円	4.3%	+55.6%	+124.2%	△8百万円	—	—	—
経常利益	150億28百万円	6.1%	+10.7%	+7.4%	38百万円	4.5%	+61.0%	+120.6%	3百万円	0.7%	—	—
当期純利益	105億95百万円	4.3%	△8.9%	△14.4%	38百万円	4.5%	+61.0%	+120.6%	3百万円	0.7%	—	—

■【参考】親会社におけるその他海外地域の売上高実績

		売上高	売上総利益
その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	8億22百万円	2億24百万円
	率	—	27.3%
	前年比	+29.5%	+30.6%

■海外ルート前年比：+24.4%

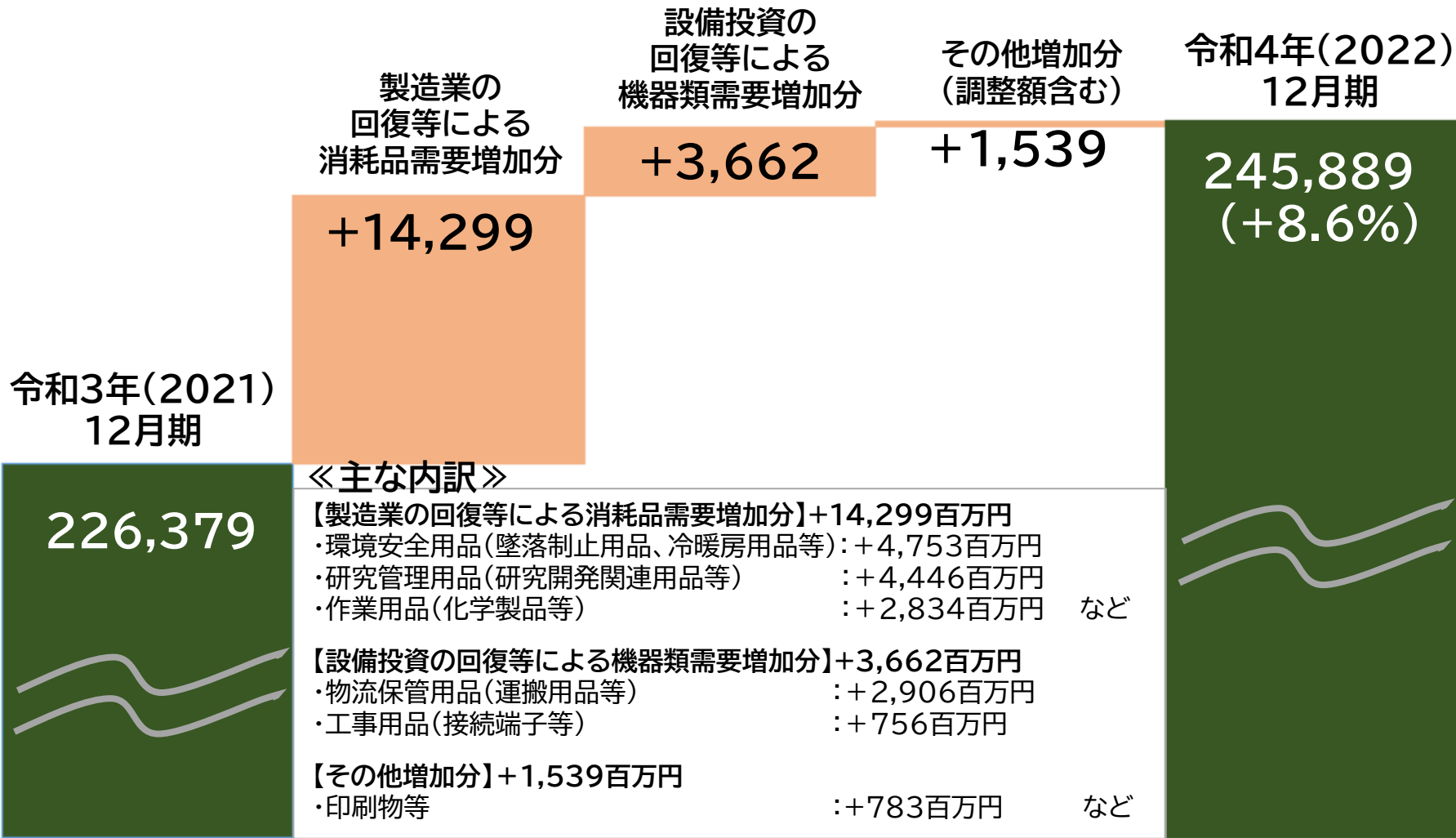
タイにおいては現地のトップブランドの独自仕入先開拓の強化、インドネシアでは在庫アイテムの見直しにより、納品リードタイムの短縮を実施、またローカル企業の新規得意先様との取引で販売領域を拡大しました。

その他海外地域への販売では、アジア太平洋地域を中心にEC企業様との新規口座開設を行うなど、取引拡大に努めました。

B-2.【親単体】売上分析

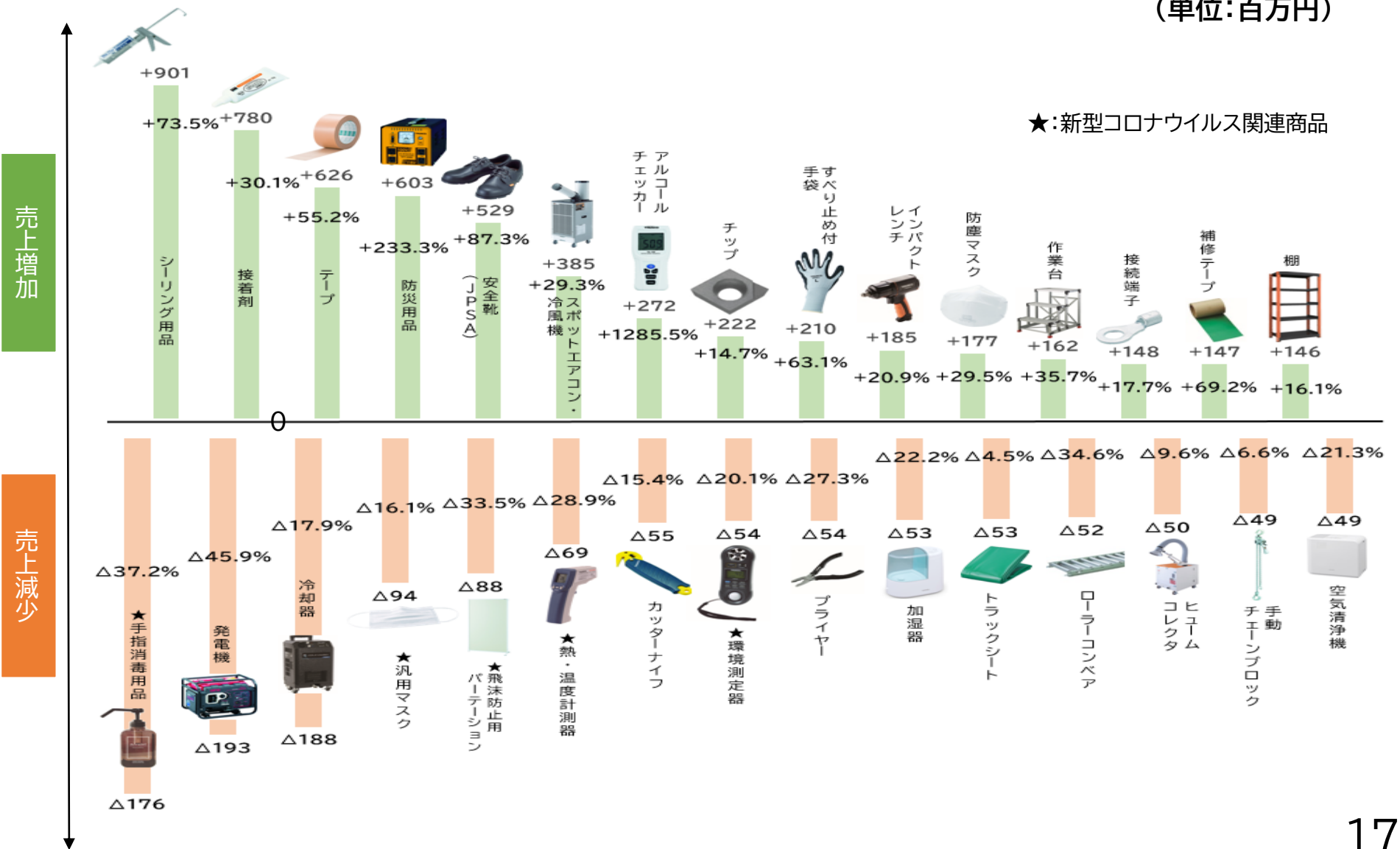
(単位:百万円)

売上高 19,501百万円増加



B-3.【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

(単位:百万円)



B-4.【親単体】商品分類別売上高

記録的猛暑の影響により、スポットエアコンなどの冷房用品(大分類6)、また墜落制止用器具の着用に関する法改正により、ハーネス(大分類6)の需要が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症予防に係る手指消毒用品(大分類6, 8)の需要は一服しました。

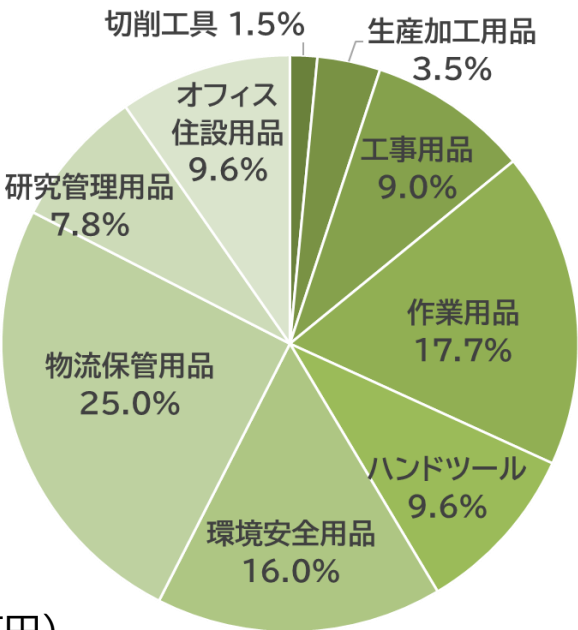
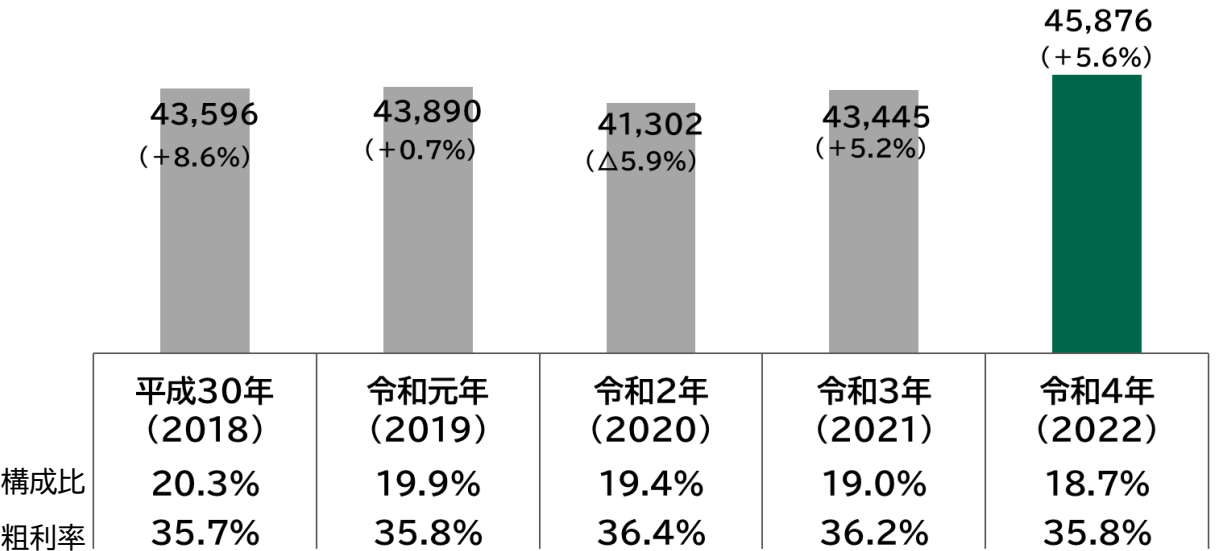
(単位：百万円、%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率
1.切削工具	切削工具 計	7,706	3.1	+7.9	16.0	6.環境安全用品	環境安全用品 計	44,461	18.1	+11.2	21.9
	① 切削工具	3,840	1.6	-	10.4		㊸ 保護具	23,779	9.7	-	22.6
	② 穴あけ・ネジきり工具	3,866	1.6	-	21.5		㊹ 安全用品	10,266	4.2	-	25.4
2.生産加工用品	生産加工用品 計	17,928	7.3	+4.4	15.6		㊺ 環境改善用品	2,117	0.9	-	18.7
	③ 測定計測	9,386	3.8	-	15.1		㊻ 冷暖房用品	4,522	1.8	-	13.8
	④ メカトロニクス	3,771	1.5	-	15.4		㊼ 防災・防犯用品	1,702	0.7	-	19.3
	⑤ 工作機工具	2,246	0.9	-	22.7		㊽ 物置・エクステリア用品	2,076	0.8	-	19.9
	⑥ 電動機械	2,523	1.0	-	11.1	7.物流保管用品	物流保管用品 計	27,102	11.0	+9.0	22.3
							㊾ 荷役用品	7,341	3.0	-	17.5
3.工事用品	工事用品 計	28,340	11.5	+9.0	21.2		㊿ コンベヤ	1,128	0.5	-	15.4
	⑦ 油圧工具	1,928	0.8	-	10.9		㊽ 運搬用品	10,393	4.2	-	22.3
	⑧ ポンプ	3,540	1.4	-	16.2		㊾ コンテナ・容器	4,130	1.7	-	29.0
	⑨ 溶接用品	2,308	0.9	-	17.8		㊿ スチール棚	4,105	1.7	-	26.2
	⑩ 塗装・内装用品	2,425	1.0	-	25.8	8.研究管理用品	研究管理用品 計	10,314	4.2	+5.7	23.0
	⑪ 土木建築	2,415	1.0	-	13.4		㊽ ツールワゴン	980	0.4	-	28.1
	⑫ はしご・脚立	3,376	1.4	-	22.3		㊾ 保管・管理用品	1,260	0.5	-	30.6
	⑬ 配管・電設資材	4,566	1.9	-	23.2		㊿ 作業台	1,640	0.7	-	33.7
	⑭ 部品・金物・建築資材	7,778	3.2	-	26.3		㊽ ステンレス用品	1,966	0.8	-	18.1
4.作業用品	作業用品 計	46,753	19.0	+11.0	21.8		㊾ 研究開発関連用品	4,466	1.8	-	18.0
	⑮ 切断用品	1,497	0.6	-	21.5	9.オフィス住設用品	オフィス住設用品 計	21,321	8.7	+3.8	23.0
	⑯ 研削・研磨用品	7,341	3.0	-	23.3		㊽ 清掃用品	6,318	2.6	-	21.7
	⑰ 化学製品	24,689	10.0	-	20.8		㊾ 文具用品	2,472	1.0	-	19.4
	⑱ 工場雑貨	4,226	1.7	-	15.6		㊿ オフィス雑貨	3,135	1.3	-	27.3
	⑲ 梱包結束用品	5,960	2.4	-	30.8		㊽ 電化製品	3,464	1.4	-	22.4
	⑳ キャスター	3,039	1.2	-	17.8		㊾ OA事務用機器	1,916	0.8	-	24.2
5.ハンドツール	ハンドツール 計	40,177	16.4	+7.8	18.8		㊿ 事務用家具	3,744	1.5	-	24.3
	㊽ 電動工具・用品	10,980	4.5	-	14.4		㊽ インテリア用品	267	0.1	-	20.1
	㊾ 空圧工具用品	6,604	2.7	-	18.0	10.その他	㊽ 全体	1,793	0.7	+16.8	31.9
	㊿ 手作業工具	20,645	8.4	-	20.5		合計	245,899	100.0	+8.6	21.1
	㊽ 工具箱	1,946	0.8	-	29.2						

※第60期は「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、中分類の前年同期比につきましては「-」にて記載しております。
小計・合計を除く、各粗利率は「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で記載しております。

B-5.【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

■プライベート・ブランド商品売上高推移 ()前年比 (単位:百万円)



■セグメント別・商品分類別売上高 (単位:百万円)

セグメント 商品分類	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	18.7%	構成比	19.4%	構成比	22.2%	構成比	4.8%
	粗利率	35.8%	粗利率	36.1%	粗利率	35.8%	粗利率	30.5%
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
合計	45,876	+5.6%	33,028	+4.0%	11,444	+9.5%	1,065	+11.6%
切削工具	700	+0.3%	514	+2.2%	107	Δ8.4%	67	Δ0.2%
生産加工用品	1,621	+3.8%	1,175	+3.6%	398	+4.1%	18	Δ1.3%
工事用品	4,144	+10.5%	2,943	+10.0%	1,110	+12.0%	63	+5.1%
作業用品	8,125	+4.0%	6,348	+2.9%	1,626	+7.8%	82	+4.1%
ハンドツール	4,421	Δ1.1%	3,123	Δ0.8%	1,100	Δ2.3%	123	+3.0%
環境安全用品	7,360	+3.1%	5,414	+0.1%	1,767	+10.7%	158	+34.0%
物流保管用品	11,485	+9.6%	7,993	+8.1%	2,925	+12.7%	508	+13.3%
研究管理用品	3,587	+6.1%	2,545	+1.5%	1,012	+19.1%	5	+99.3%
オフィス住設用品	4,426	+6.8%	2,969	+5.8%	1,395	+8.9%	34	Δ2.1%
その他	2	Δ35.9%	-	-	-	-	2	Δ35.9%

「プロフェッショナルな技にプロフェッショナルなクオリティで応えたい」という想いから誕生しました。1964年に業界初のプライベート・ブランド(PB)商品として誕生し、工場用副資材のブランドの中で最も幅広く網羅しています。さらに現場のお役に立つ「TRUSCO」商品を目指し、商品開発、主力商品のブラッシュアップを実施しています。

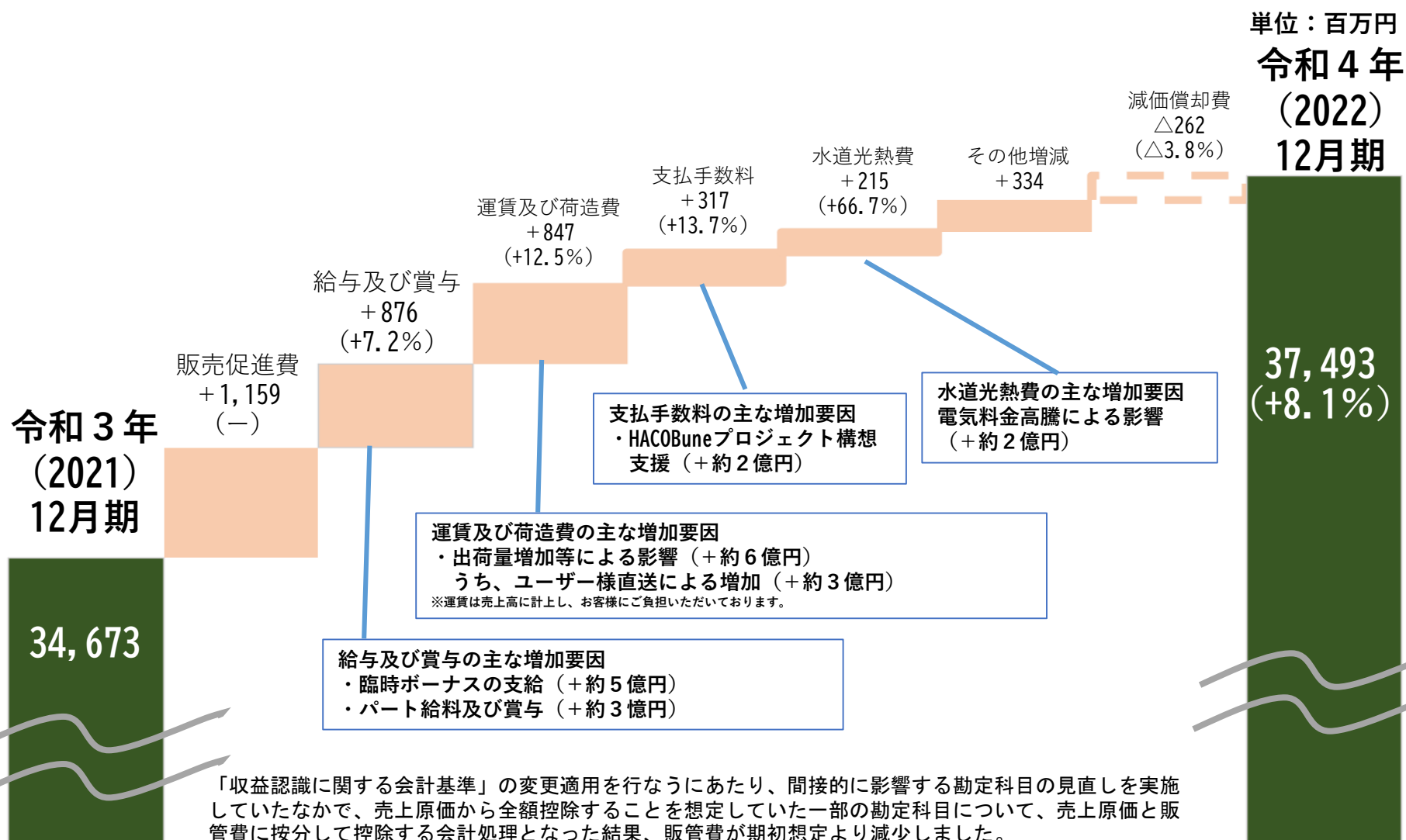


C.財務等実績

- P21 C-1.【連結】販売費及び一般管理費
- P22 C-1.【連結】販売費及び一般管理費(詳細)
- P22 C-2.【連結】財務諸表・財務指標
- P23 C-3.【連結】設備投資一覧
- P24 C-4.現在進行中の主な設備投資
- P25 C-5.【連結】四半期毎の実績・予算(四半期)
- P26 C-6.【連結】四半期毎の実績・予算(累計)



C-1.【連結】販売費及び一般管理費の主な増減内容



C-1.【連結】販売費及び一般管理費【詳細】

(単位:百万円、%)

No.	令和3年(2021)12月期		令和4年(2022)12月期		前年 増減額	前年比	令和4年 (2022) 通期予算	通期予算と 前年実績比
	実績	売上高 構成比	実績	売上高 構成比				
1 給料及び賞与	12,159	5.4	13,036	5.3	+876	+7.2	12,375	+1.8
2 運賃及び荷造費	6,782	3.0	7,630	3.1	+847	+12.5	7,231	+6.6
3 減価償却費	6,929	3.1	6,667	2.7	△262	△ 3.8	6,853	△ 1.1
4 支払手数料	2,321	1.0	2,638	1.1	+317	+13.7	2,593	+11.7
5 福利厚生費	2,197	1.0	2,343	1.0	+145	+6.6	2,286	+4.1
6 租税公課	1,379	0.6	1,416	0.6	+37	+2.7	1,343	△ 2.6
7 旅費及び交通費	472	0.2	543	0.2	+71	+15.1	495	+5.0
8 水道光熱費	322	0.1	537	0.2	+215	+66.7	320	△ 0.8
9 広告宣伝費	509	0.2	505	0.2	△4	△ 0.9	546	+7.1
10 通信費	400	0.2	434	0.2	+33	+8.5	430	+7.3
11 消耗品費	472	0.2	434	0.2	△38	△ 8.1	465	△ 1.6
12 役員報酬	404	0.2	401	0.2	△2	△ 0.7	414	+2.4
13 借地借家料	337	0.1	357	0.1	+19	+5.9	337	△ 0.1
14 販売促進費	△ 843	△ 0.4	316	0.1	+1,159	—	337	—
15 車両費	269	0.1	283	0.1	+13	+5.2	260	△ 3.6
16 交際費	25	0.0	42	0.0	+16	+66.2	99	+289.3
17 賞与引当金繰入額	17	0.0	8	0.0	△9	△ 52.4	504	+2,807.4
18 その他	513	0.2	△104	△ 0.0	△617	—	578	+12.7
計	34,673	15.3	37,493	15.2	+2,820	+8.1	37,470	+8.1

※令和4年通期予算について、給料及び賞与、運賃及び荷造費以外の項目については【親単体】の数値にて記載しています。

C-2.【連結】財務諸表・財務指標

貸借対照表

(令和4年12月31日現在)		単位(百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	119,667	流動負債	46,178
現金及び預金	39,400	買掛金	18,866
売掛金	31,557	短期借入金	10,000
電子記録債権	2,758	1年内返済予定の長期借入金	10,000
商品	45,292	未払金	3,090
その他	658	未払法人税等	2,515
貸倒引当金	△1	賞与引当金	12
固定資産	105,540	その他	1,694
有形固定資産	97,464	固定負債	28,026
建物および構築物	50,023	長期借入金	25,000
機械及び装置	7,008	長期預り保証金	2,780
工具、器具及び備品	1,474	役員退職慰労引当金	151
土地	38,546	その他	94
建設仮勘定	412	負債合計	74,205
無形固定資産	4,381	(総資産の部)	
ソフトウェア	3,878	株主資本	150,750
ソフトウェア仮勘定	494	資本金	5,022
その他	7	資本剰余金	4,711
投資その他の資産	3,694	利益剰余金	141,096
投資有価証券	3,118	自己株式	△79
繰延税金資産	120	その他の包括利益累計額	252
再評価に係る繰延税金資産	155	その他有価証券評価差額金	466
その他	310	土地再評価差額金	△353
貸倒引当金	△10	為替換算調整勘定	139
		純資産合計	151,002
資産合計	225,207	負債純資産合計	225,207

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和3年(2021) 12月期	令和4年(2022) 12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,926	12,178	△3,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,596	△5,165	△568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,243	△9,110	△6,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	48	+29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,105	△2,049	△11,154
現金及び現金同等物の期首残高	32,344	41,449	+9,105
現金及び現金同等物の期末残高	41,449	39,400	△2,049

自己資本比率

	令和3年(2021)末	令和4年(2022)末	増減
自己資本比率	64.0%	67.1%	+3.1pt

その他財務指標

	令和3年(2021)末	令和4年(2022)末	増減(pt)
ROA(総資産経常利益率)	6.3%	6.7%	+0.4pt
ROE(自己資本利益率)	8.4%	7.2%	△1.2pt

<ROEに対する考え方>
当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

C-3.【連結】設備投資一覧

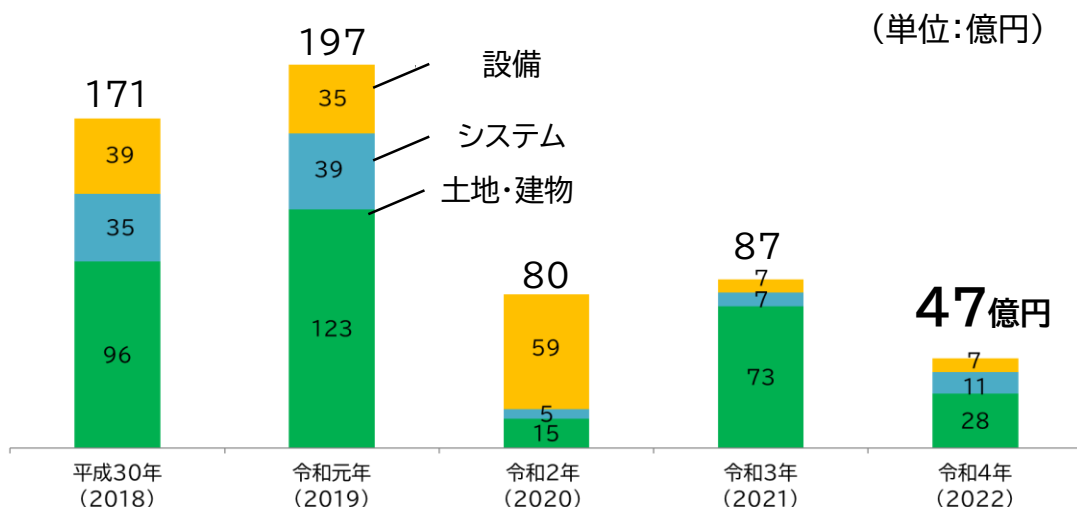
■主な設備投資の実績と予定

令和4年(2022)12月期 設備投資実績:47億99百万円

(単位:百万円)

令和4年(2022) 主な設備投資 内訳		令和4年(2022) 投資実績額	令和5年(2023) 投資予定額
システム	商品データベース「ステラ」刷新 (今期実績:3.2億円)	1,180	2,864
	物流センターネットワーク強化[7拠点] (今期実績:1.6億円)		
建物	プラネット東関東 パレット自動倉庫棟新築工事 (今期実績:10.3億円)	2,494	6,908
	堺ストックセンター(大阪)新築工事 (今期実績:6.3億円)		
土地	プラネット新潟 建設用地 (今期実績:3.9億円)	400	—
設備	プラネット埼玉パレタイズロボット導入 (今期実績:1.4億円)	724	3,983
	その他 ハンディターミナル(物流携帯端末)リプレイス、プラネット東北I-Pack仕様変更など		
年間設備投資額		4,799	13,755

■設備投資額の推移



設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は変動する場合があります。
- ・第61期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和5年(2023)12月期の減価償却費は63億97百万円(前年比△2億70百万円)を予定しております。

C-4.現在進行中の主な設備投資

■プラネット東関東 パレット自動倉庫



所在地：千葉県松戸市

敷地面積：4,441坪(増築後)
建物延床面積：8,986坪(増築後)
総投資額(土地・建物・設備)
：約26.8億円(増築部分)
第60期投資額：14.1億円(建物・設備)

増築部分にパレット自動倉庫を設置することで新たに4,556パレットの収納が可能となり、商品拡充による即納体制を強化します。

■堺ストックセンター



所在地：大阪府堺市

敷地面積：999坪
建物延床面積：1,404坪
総投資額(土地・建物・設備)
：約18.3億円
第60期投資額：7.2億円(建物)

パレット自動倉庫を設置することで、3,304パレットの収納が可能となり、在庫保管能力の向上による即納体制を強化します。

■プラネット愛知



所在地：愛知県北名古屋市

敷地面積：12,595坪
建物延床面積：27,184坪
土地金額：約14億円(購入土地のみ)
投資総額：約288億円(予定)
目標在庫アイテム：100万アイテム
品揃えの強化(100万SKU)と「最速」「最短」「最良」のサービスを実現するとともに高効率な物流センターを目指します。

C-5.【連結】四半期毎の予算・実績(四半期)

令和4年(2022) 12月期 【四半期ごと】

(単位:百万円、%)

		第1四半期(△1日)			第2四半期(±0日)			第3四半期(+3日)			第4四半期(+1日)		
		金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
売上高	予算	61,130	100.0	+6.1	59,543	100.0	+ 8.2	59,442	100.0	+ 9.6	63,385	100.0	+ 5.7
	実績	61,159	100.0	+6.1	59,524	100.0	+ 8.2	60,241	100.0	+ 11.1	65,529	100.0	+ 9.3
売上総利益	予算	12,652	20.7	+2.1	12,602	21.2	+ 5.4	12,532	21.1	+ 14.3	13,934	22.0	+ 12.8
	実績	12,883	21.1	+3.9	12,495	21.0	+ 4.5	12,376	20.5	+ 12.9	14,404	22.0	+ 16.6
販売費及び一般管理費	予算	9,257	15.1	+7.9	9,281	15.6	+ 9.5	9,273	15.6	+ 6.6	9,659	15.2	+ 8.3
	実績	9,395	15.4	+9.5	10,050	16.9	+ 18.6	9,175	15.2	+ 5.5	8,872	13.5	△ 0.5
営業利益	予算	3,395	5.6	△11.0	3,321	5.6	△ 4.8	3,259	5.5	+ 43.9	4,275	6.7	+ 24.7
	実績	3,488	5.7	△8.6	2,445	4.1	△ 29.9	3,200	5.3	+ 41.4	5,532	8.4	+ 61.3
経常利益	予算	3,429	5.6	△14.7	3,502	5.9	△ 5.2	3,287	5.5	+ 41.6	4,382	6.9	+ 24.5
	実績	3,671	6.0	△8.6	2,475	4.2	△33.0	3,253	5.4	+ 40.1	5,665	8.6	+ 60.9
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,334	3.8	△14.5	2,387	4.0	△ 5.4	2,242	3.8	△ 0.0	2,997	4.7	△ 26.9
	実績	2,534	4.1	△7.1	1,715	2.9	△ 32.0	2,220	3.7	△ 1.0	4,156	6.3	+ 1.3

会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、前年同期比は遡及適用後の数値を記載しております。

C-6.【連結】四半期毎の予算・実績(累計)

■令和4年(2022) 12月期 【累計】

(単位:百万円、%)

		第1四半期(△1日)			第2四半期(△1日)			第3四半期(+2日)			通 期(+3日)		
		金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年比
売上高	予算	61,130	100.0	+6.1	120,673	100.0	+7.1	180,115	100.0	+ 7.9	243,500	100.0	+ 7.3
	実績	61,159	100.0	+6.1	120,683	100.0	+7.1	180,924	100.0	+ 8.4	246,453	100.0	+ 8.6
売上総利益	予算	12,652	20.7	+2.1	25,254	20.9	+3.7	37,786	21.0	+ 7.0	51,720	21.2	+ 8.5
	実績	12,883	21.1	+3.9	25,379	21.0	+4.2	37,755	20.9	+ 6.9	52,160	21.2	+ 9.4
販売費及び一般管理費	予算	9,257	15.1	+7.9	18,538	15.4	+8.7	27,811	15.4	+ 8.0	37,470	15.4	+ 8.1
	実績	9,395	15.4	+9.5	19,445	16.1	+14.0	28,621	15.8	+ 11.1	37,493	15.2	+ 8.1
営業利益	予算	3,395	5.6	△11.0	6,716	5.6	△8.1	9,975	5.5	+ 4.2	14,250	5.9	+ 9.6
	実績	3,488	5.7	△8.6	5,933	4.9	△18.8	9,134	5.0	△ 4.5	14,667	6.0	+ 12.8
経常利益	予算	3,429	5.6	△14.7	6,931	5.7	△10.1	10,218	5.7	+ 1.8	14,600	6.0	+ 7.7
	実績	3,671	6.0	△8.6	6,147	5.1	△20.3	9,400	5.2	△ 6.3	15,065	6.1	+ 11.1
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,334	3.8	△14.5	4,721	3.9	△10.1	6,963	3.9	△ 7.1	9,960	4.1	△ 14.1
	実績	2,534	4.1	△7.1	4,250	3.5	△19.1	6,470	3.6	△ 13.7	10,626	4.3	△ 8.4

会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、前年同期比は遡及適用後の数値を記載しております。



D.各種 重要指標

P29

D-1.商品

P30-31

D-2.販売

P32-33

D-3.物流

P34

D-4.デジタル

P35

D-5.人事



D-1.重要指標(商品)

■トラスコ オレンジブック.Com

TRUSCO
オレンジブック.Com®
工場・作業現場のプロツール総合サイト

公開アイテム数 **316万7,188アイテム**

プロツール調達に必要な情報が全て揃った商品検索サイト

- ・SDS(安全データシート)
- ・図面
- ・商品見積や注文
(24時間対応)
- ・返品依頼(24時間対応)
- ・リアルタイム在庫確認



■トラスコ オレンジブック

TRUSCO ●モノづくり大辞典
オレンジブック®

掲載メーカー数 **2,152 社**

掲載アイテム数 **37万4,000 アイテム**

あらゆる製造現場で活用される「モノづくり大辞典」
(2023年版)

2023年度版より、
カタログの厚さが1/2に！
製造工程でのCO₂排出量を
約23kg/1セット削減！！

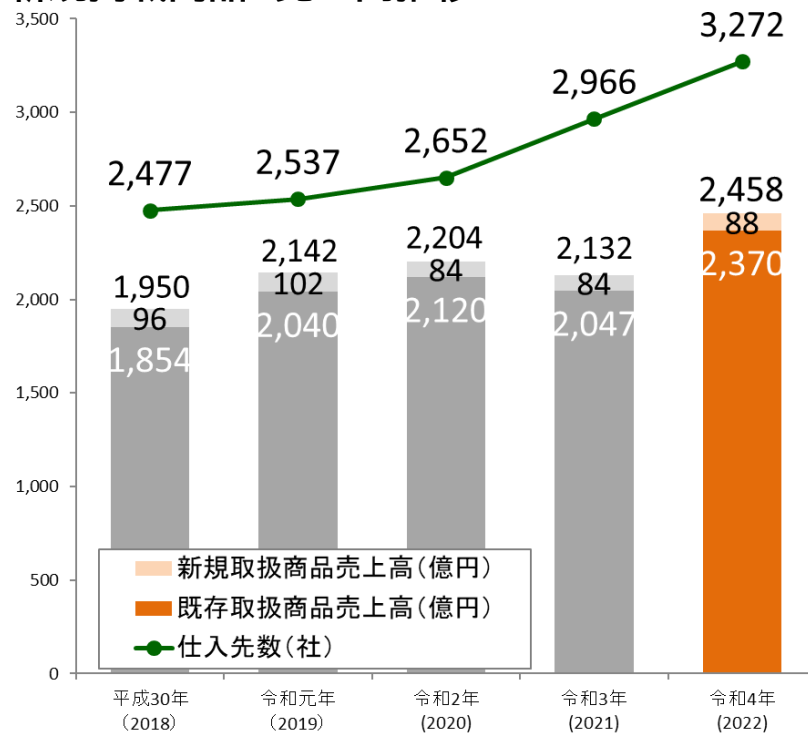


■在庫アイテム数 **56万2,026アイテム**
内)商品自動採用数 **2万6,109アイテム**

売れ筋商品を自動在庫化

販売実績から在庫化すべき商品が自動で仕入先様に発注され、在庫化されます。売れ筋商品が自動で在庫化されることで得意先様へのサービスレベルが向上するとともに業務の効率化にもつながっています。

■【親単体】全社売上高におけるトラスコ オレンジブック 新規掲載商品 売上高推移



D-2.重要指標(販売)

■オレンジコマース

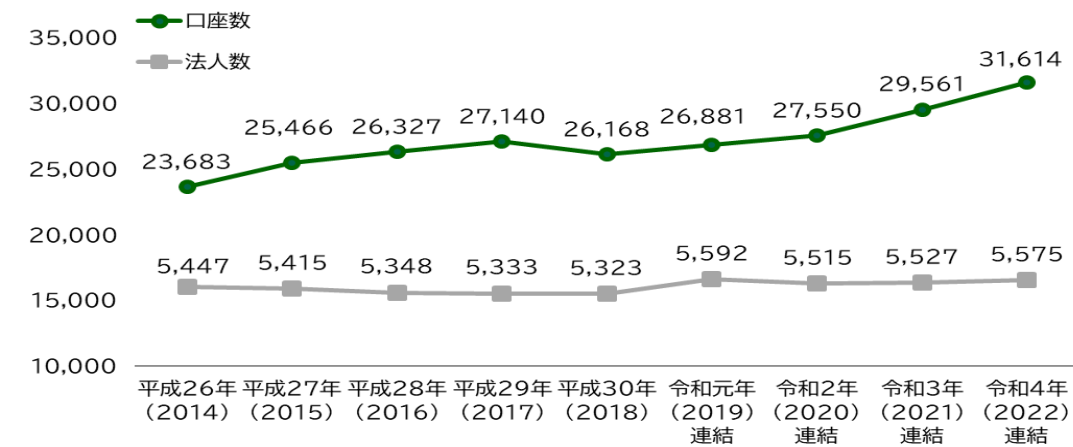


調達プロセスを効率化したユーザー様向け購買支援システム

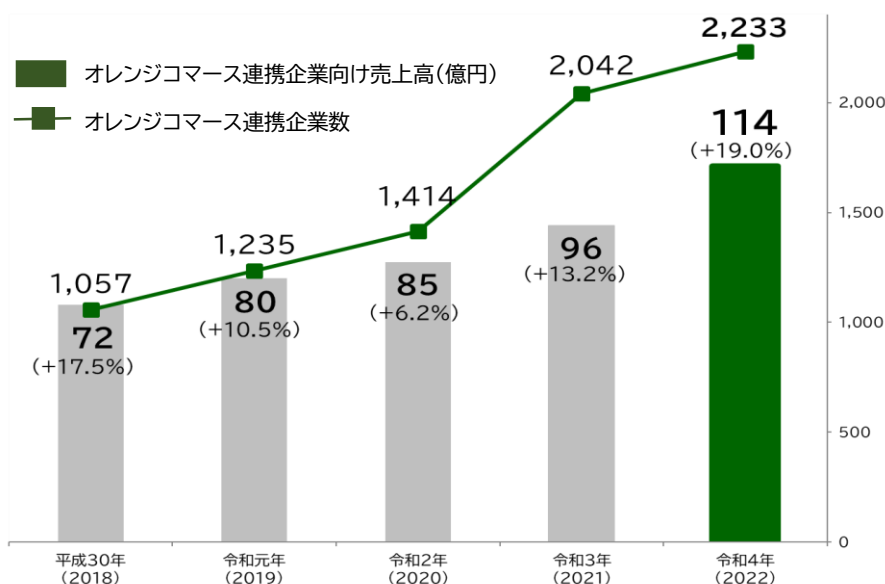
ユーザー様がご利用の購買システムと連携し、ユーザー様・得意先様・当社の3社間でお取引を行う購買支援システムです。導入により調達プロセスの見える化とコストの削減を実現。



■【連結】販売口座数及び法人数の推移



●オレンジコマース(電子購買)連携企業数の推移



■倒産による回収不能金額

	回収不能金額 (万円)
平成30年 (2018)	4
令和元年 (2019)	0
令和2年 (2020)	0
令和3年 (2021)	275
令和4年 (2022)	0

D-2.重要指標(販売)

■置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」

2022年12月末時点 導入件数：775件

現在商談中 395件

2023年12月末時点 累計目標設置件数 1,000件

1件当たり月額売上目標 30万円

「MROストッカー」は、日本で長年親しまれているビジネスモデル「置き薬」の工具版です。モノづくり現場に必要な商品がすぐに利用できる、究極のクイックデリバリー環境を実現します。ユーザー様がモノづくりにおいて日々使用する消耗品が在庫されており、製造現場の「今すぐ欲しい」という声に応えます。また、代金のご使用分のみの請求となり、ユーザー様は場所のご提供だけで在庫リスクを負うことなく、利用できます。

●運用フロー

自動在庫発注・受注情報を連携

 GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞

業務用システム・サービス



D-3.重要指標(物流)

■ユーザー様直送サービスについて

通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。通販企業様各社とのお取引組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー様直送件数／個口数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

I-Pack®

[高速自動梱包出荷ライン]

出荷能力：720CS/h(1ライン)、約24人分

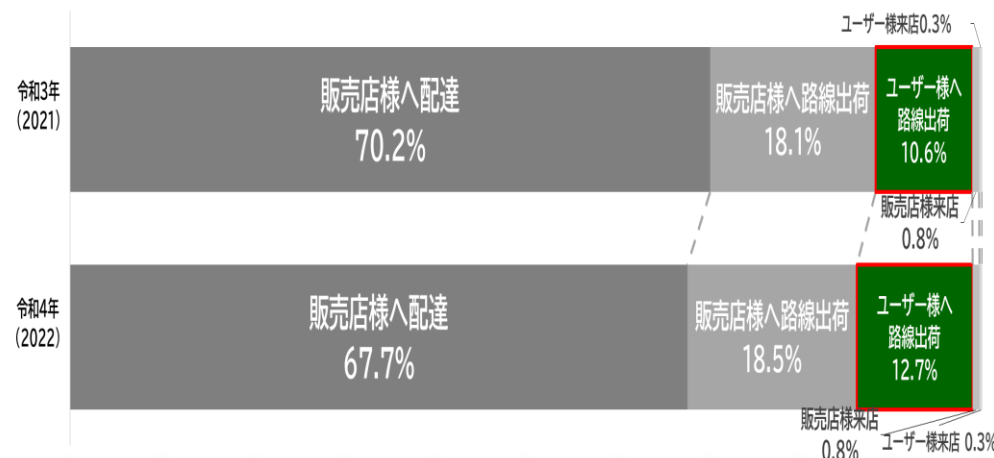
導入センター：プラネット東北、

プラネット埼玉(3ライン)

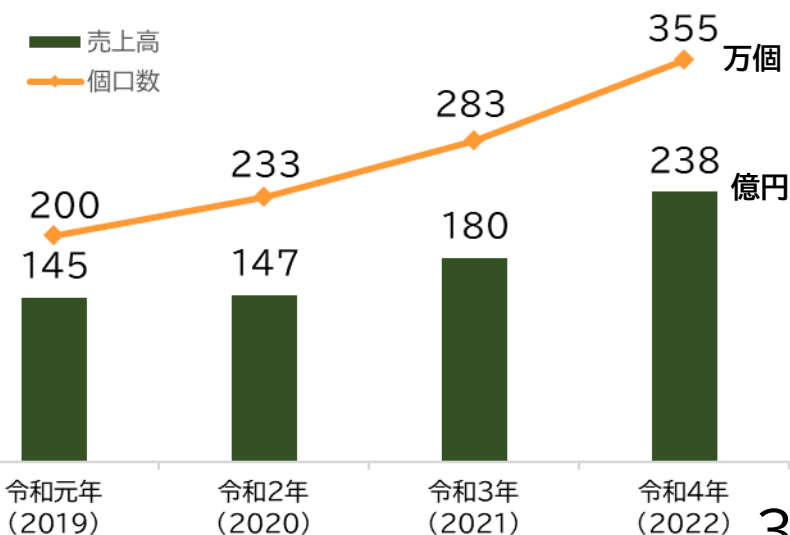
プラネット東海、プラネット大阪 計6ライン



■納品区分別構成比(出荷行数別)

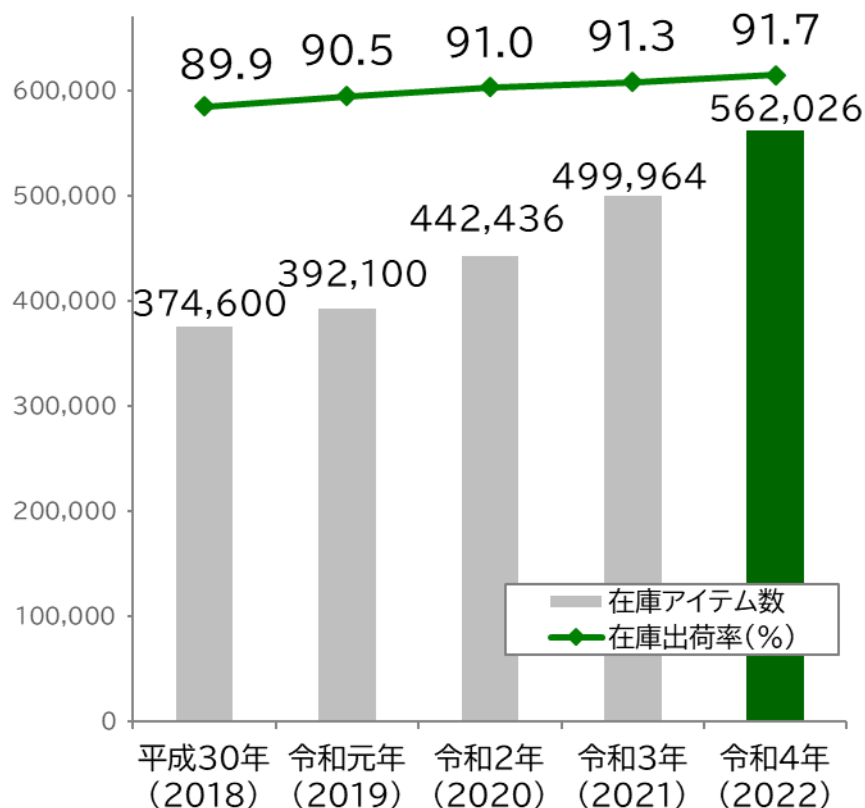


■ユーザー様直送サービスの推移



D-3.重要指標(物流)

■在庫アイテム数と在庫出荷率



■納品リードタイム

20時間10分04秒(前期末比+3分11秒)

■入出荷1行あたり人件費

113円(前期末比△4円)

■【親単体】在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
廃棄金額(百万円)	39	42	50	55	65
在庫金額(億円)	370	427	406	416	441
廃棄率(%)	0.11	0.10	0.12	0.13	0.15

■配達便・社内間輸送便 台数

	台数	前期末比
総配達便数	278台	±0台
傭車便(契約配達便)	162台	+1台
自社配達便	116台	△1台
社内間輸送便	30台	±0台
傭車便(契約便)	26台	△1台
自社便	4台	+1台
配達便・社内間輸送便 計	308台	±0台

配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間輸送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は41.7%です。2024年には自社便率を50%まで高めていく予定です。

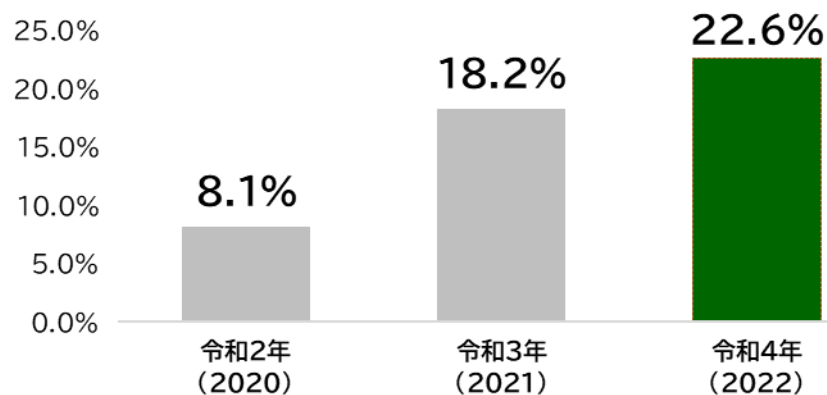
D-4.重要指標(デジタル)

ⅠAI見積「即答名人」

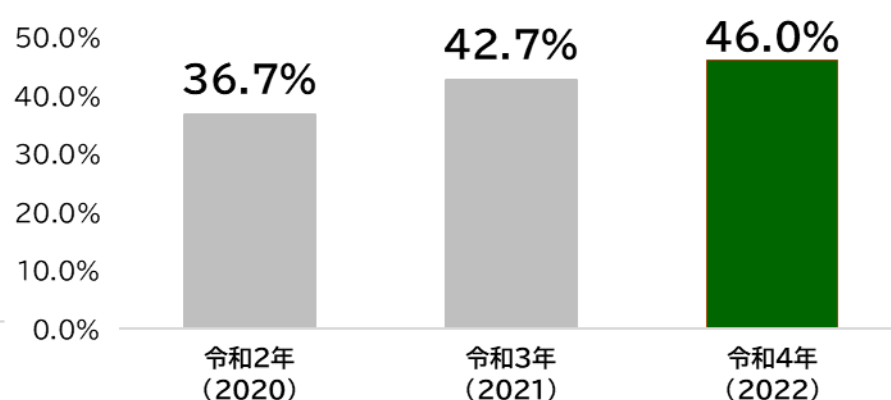
AIを活用し、見積を自動化

受注・見積実績をもとに、定期的に商品の適正価格を自動計算する特価最適化をすることで見積の自動化を推進。得意先様への回答スピード向上(最短5秒)に繋がっています。

●見積自動化率



●WEB見積依頼率



Ⅰシステム受注率

受注形態	受注行数 (千行)	行数占有率	行数占有率 前期末比(pt)	受注金額 (百万円)	金額占有率	金額占有率 前期末比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	15,231	38.6%	△1.2	102,902	41.8%	△0.3
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	8,616	21.8%	+0.2	33,206	13.5%	+0.5
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	942	2.4%	+0.3	6,496	2.6%	+0.3
EOS ホームセンター電子発注システム	8,825	22.4%	+0.8	20,066	8.2%	+0.7
計	33,615	85.2%	△0.1	162,672	66.2%	+1.2

D-5.重要指標(人事)

■社員数【連結】 令和4年(2022)12月末現在 (単位:名)

	女	男	合計	前年比
役員	1	9	10	±0
執行役員	0	1	1	△1
キャリア(海外・国内)	152	412	564	△9
キャリア(地域)	1	8	9	+9
デジタルキャリア	0	0	0	±0
ロジスキャリア	0	0	0	±0
エリア	302	299	601	+20
ロジスエリア	3	23	26	+26
スペシャリスト	13	14	27	△1
エキスパート	0	0	0	±0
ロジス	84	243	327	△16
サポート	0	0	0	△25
契約社員	1	37	38	+4
現地法人	19	24	43	△1
健康保険組合 outwarder	2	0	2	±0
中山財団 outwarder	0	1	1	+1
社員計(役員含まず)	577	1,062	1,639	+7
パート	964	341	1,305	+41
従業員計	1,542	1,412	2,954	+48

女性社員比率35.2%/女性セールス47人/女性キャリア比率26.7%
※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■入社者数および退職者数

	平成30年 (2018)【親単体】		令和元年 (2019)【連結】		令和2年 (2020)【連結】		令和3年 (2021)【連結】		令和4年 (2022)【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	557	1,051	585	1,071	589	1,085	571	1,061	577	1,062
	1,608		1,656		1,674		1,632		1,639	
入社者(名)	63	72	52	57	41	46	26	25	47	51
	135		109		87		51		98	
退職者(名)	20	26	42	44	37	33	45	45	39	44
	46		86		70		90		83	
離職率(%)	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0	7.3	4.1	6.3	4.0
	2.8		4.9		4.0		5.2		4.8	

■平均年齢・年収

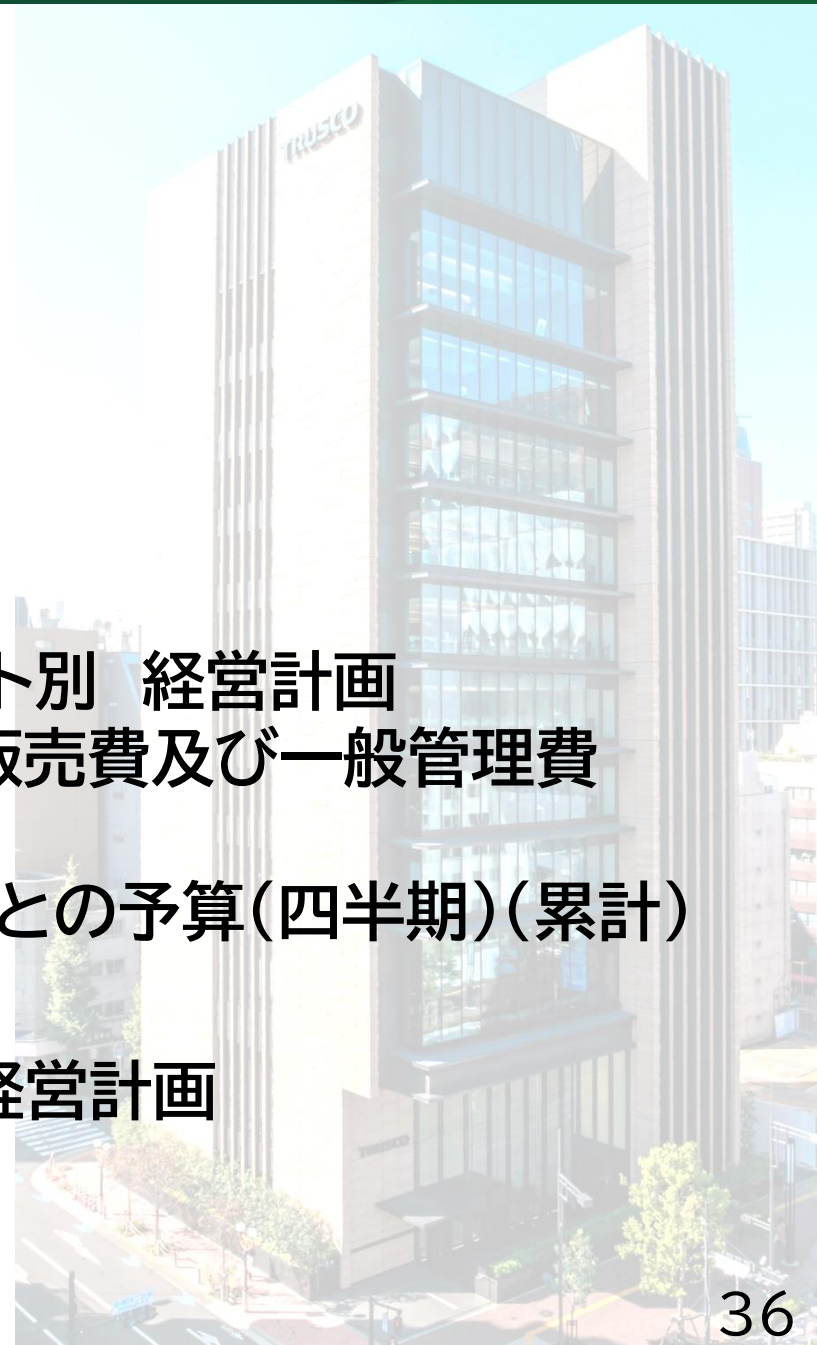
	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和4年 (2022)	33.0	43.4	39.8	771	633	494	661
令和3年 (2021)	32.8	43.2	39.6	724	596	456	615
令和2年 (2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年 (2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与中止のため減額。
※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。
※令和4年(2022)の平均年収には物価高騰による生活支援臨時ボーナスが含まれております。



E.経営計画

- P37-39 E-1.【連結】経営計画
 【連結】セグメント別 経営計画
 【連結】第61期販売費及び一般管理費
- P40 E-2.【連結】四半期ごとの予算(四半期)(累計)
- P41 F-1.【連結】3か年期経営計画



E-1.【連結】第61期 経営計画

◆予算策定について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。

(単位:百万円)

	令和4年(2022) 12月期 実績	構成比 (%)	令和5年(2023) 12月期 計画	構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	246,453	—	265,090	—	+7.6
売上総利益	52,160	21.2	55,350	20.9	+6.1
販売費及び一般管理費	37,493	15.2	39,650	15.0	+5.8
(うち、減価償却費)	6,667	2.7	6,397	2.4	△4.1
営業利益	14,667	6.0	15,700	5.9	+7.0
経常利益	15,065	6.1	15,970	6.0	+6.0
親会社に帰属する 当期純利益	10,626	4.3	10,920	4.1	+2.8
1株当たり配当金	40円00銭	—	41円50銭	—	+1円50銭

E-1.【連結】第61期 セグメント別 経営計画

◆予算策定について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。

(単位:百万円)

	令和4年(2022) 12月期 実績	令和5年(2023) 12月期 計画	前年比 (%)
ファクトリールート	170,606	182,555	+7.0
eビジネスルート	51,576	56,967	+10.5
ホームセンタールート	22,162	23,014	+3.8
海外ルート	2,108	2,551	+21.0
合計	246,253	265,090	+7.6

E-1.【連結】第61期 販管費及び一般管理費

第61期予想:396億50百万円

増加要因

(1)運賃荷造費 70億97百万円(+17.6%)

①売上高増加による出荷個数増加予想

②輸送コストの増加予想

※ユーザー様直送の係る運賃は、お客様にご負担いただいております。

(2)従業員給与及び賞与 110億35百万円(+2.5%)

①ロジスコース賞与増加

②2023年度新入社員:82名

減少要因

減価償却費 63億97百万円(△4.1%)

前期に大型投資が少なかったことにより、微減

E-2.【連結】四半期毎の予算(四半期・累計)

令和5年(2023) 12月期 【四半期ごと】

(単位:百万円、%)

	第1四半期(±0日)			第2四半期(+1日)			第3四半期(±0日)			第4四半期(±0日)		
	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	65,925	100.0	+7.8	64,535	100.0	+ 8.4	64,898	100.0	+ 7.7	69,732	100.0	+ 6.4
売上総利益	13,653	20.7	+6.0	13,378	20.7	+ 7.1	13,480	20.8	+ 8.9	14,839	21.3	+ 3.0
販売費及び一般管理費	9,714	14.7	+3.4	10,209	15.8	+ 1.6	9,717	15.0	+ 5.9	10,010	14.4	+ 12.8
営業利益	3,939	6.0	+12.9	3,169	4.9	+ 29.6	3,763	5.8	+ 17.6	4,829	6.9	△ 12.7
経常利益	3,981	6.0	+8.4	3,239	5.0	+ 30.8	3,818	5.9	+ 17.4	4,932	7.1	△ 12.9
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	2,719	4.1	+7.3	2,213	3.4	+ 29.0	2,611	4.0	+ 17.6	3,377	4.8	△ 18.7

令和5年(2023) 12月期 【累計】

	第1四半期(±0日)			第2四半期(+1日)			第3四半期(+1日)			第4四半期(+1日)		
	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	65,925	100.0	+7.8	130,460	100.0	+8.1	195,358	100.0	+ 8.0	265,090	100.0	+ 7.6
売上総利益	13,653	20.7	+6.0	27,031	20.7	+6.5	40,511	20.7	+ 7.3	55,350	20.9	+ 6.1
販売費及び一般管理費	9,714	14.7	+3.4	19,923	15.3	+2.5	29,640	15.2	+ 3.6	39,650	15.0	+ 5.8
営業利益	3,939	6.0	+12.9	7,108	5.4	+19.8	10,871	5.6	+ 19.0	15,700	5.9	+ 7.0
経常利益	3,981	6.0	+8.4	7,220	5.5	+17.4	11,038	5.7	+ 17.4	15,970	6.0	+ 6.0
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	2,719	4.1	+7.3	4,932	3.8	+16.0	7,543	3.9	+ 16.6	10,920	4.1	+ 2.8

E-3.【連結】3か年経営計画

投資計画の成果を見える化し、成果をより確実なものとするため3か年計画を策定しました
2026年のプラネット愛知の稼働を見据え、プラットフォーム戦略である「TRUSCO HACOBUne」をはじめとしたお客様の利便性向上につながる施策を実行し、本計画の達成を目指してまいります

(単位:百万円、%)

	第60期(2022) 12月期末実績	前年比(%)	第61期(2023) 12月期計画	前年比(%)	第62期(2024) 12月期計画	前年比(%)	第63期(2025) 12月期計画	前年比(%)
売上高	246,453	+8.6	265,090	+7.6	284,000	+7.1	304,200	+7.1
売上総利益率(%)	21.2	+0.2	20.9	△0.3	20.9	±0.0	20.9	±0.0
販売費及び一般管理費	37,493	+8.1	39,650	+5.8	41,500	+4.7	43,500	+4.8
(内 減価償却費)	6,667	▲3.8	6,397	▲4.1	6,115	▲4.4	5,239	▲14.3
営業利益	14,667	+12.8	15,700	+7.0	17,800	+13.4	20,100	+12.9
経常利益	15,065	+11.1	15,970	+6.0	18,200	+14.0	20,500	+12.6
当期純利益	10,626	▲8.4	10,920	+2.8	12,417	+13.7	13,987	+12.6
1株当たり配当金	40円00銭	+4円50銭	41円50銭	+1円50銭	47円50銭	+6円00銭	53円00銭	+5円50銭
ユーザー様直送個口数(個口)	3,556,388	+25.4	4,400,000	+23.7	5,300,000	+20.5	6,300,000	+18.9
MROストッカー導入数(件)	775	+446	1,000	+225	1,500	+500	2,000	+500
在庫アイテム数(SKU)	562,026	+62,062	595,000	+32,974	645,000	+50,000	695,000	+50,000
トラスコ オレンジブック.Com 公開アイテム数(SKU)	3,167,188	+406,301	4,200,000	+1,032,812	5,400,000	+1,200,000	6,600,000	+1,200,000
主な投資・取組み	・「荷合わせ」と「ユーザー様直送」の取組み強化		・ユーザー様の購買システムと連携(MROストッカー2.0)		・商品データベースを大幅強化(Sterra2.0)		・商品の選定～到着まで一連の体験価値提供(ECクロス)	
	・「MROストッカー」、「直治郎」のPR強化		・類似品検索機能		・得意先様の業務効率化/利便性向上(オレンジブック.Com2.0)		・庫内マネジメントの高度化(GWES)	

※本計画は現時点で入手している情報を基に策定しており、事業環境の変化に応じて都度変更する可能性があるものです。



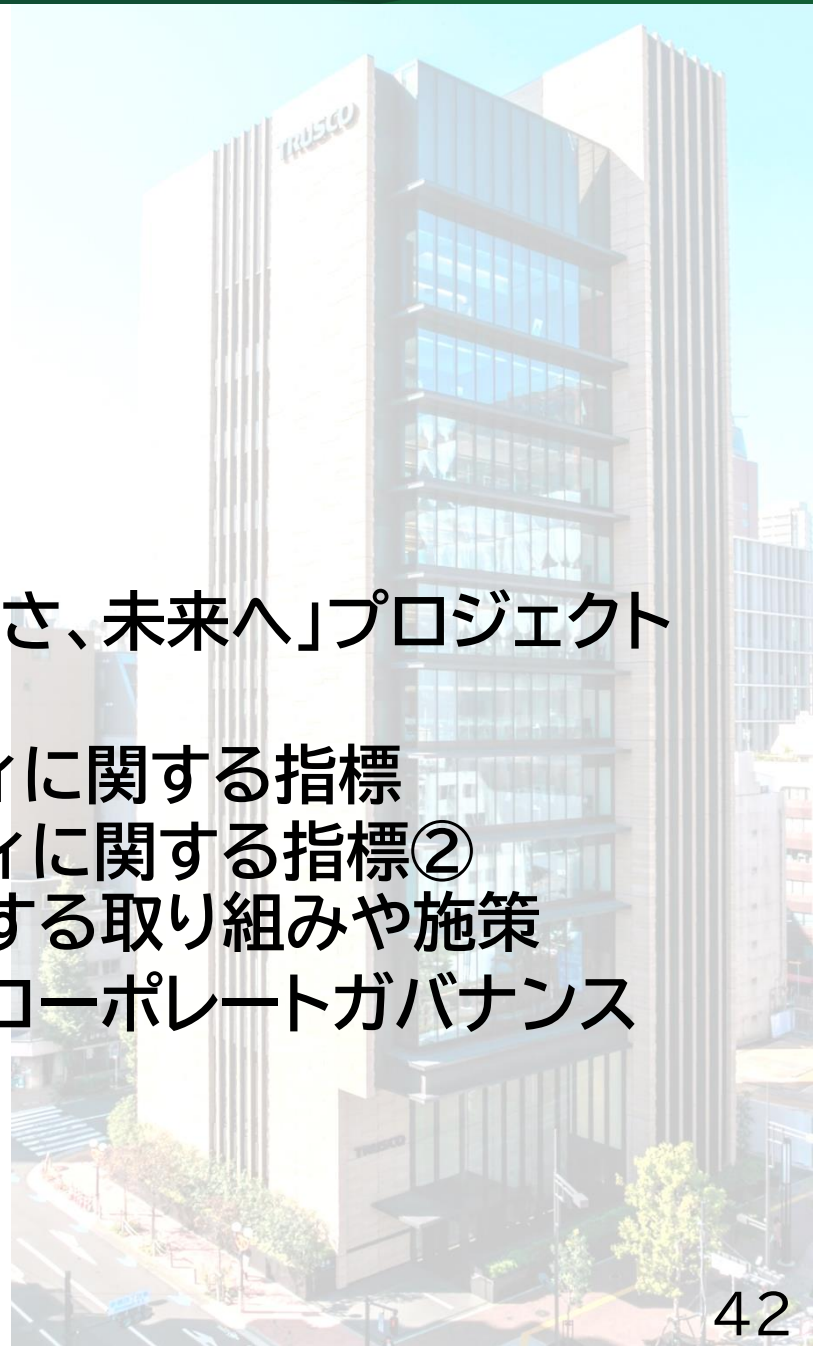
F. ESG情報

P43 F-1. TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

P44-47 F-2. サステナビリティに関する指標
サステナビリティに関する指標②

F-3. その他環境に関係する取り組みや施策

F-4. 社会との関わり・コーポレートガバナンス



F-1.TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

ⅠTRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

当社では、「私たちの小さな小さな取り組みが、未来の大きな思いやりにつながるよう、地球に優しい企業を目指します」という思いから、1998年に「やさしさ、未来へ」という環境理念を掲げ、さまざまな環境への取り組みを行ってきました。

サステナビリティという言葉が広まる20年以上前から、地球社会を未来へつないでいくという考えが会社根付いてきているのです。

これまで、「やさしさ、未来へ」は環境のみを指す言葉でしたが、これからは、TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクトとして地球環境も含めたヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。



詳細はこちら

Ⅱ「やさしさ、未来へ」基本方針 ～TSV～

「人や社会のお役に立ててこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すこと(TSV※)で、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSVはTRUSCO+CSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)から命名しています。

この基本方針のもと、ヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。

F-2.サステナビリティに関する指標

■CO₂排出量(2022年末時点)

Scope1 2,327t-co₂ / Scope2 8,109t-co₂

■各種サービスによるCO₂排出削減量

年間CO₂排出削減量 **11,365t-CO₂** (前年比+1,806t-CO₂)



サービス	年間CO ₂ 排出削減量	1個口/台/アイテムあたり CO ₂ 排出削減量	実績(2022)
ユーザー様直送	1,002t-CO ₂	0.28kg-CO ₂	355万個口
荷合わせ	165t-CO ₂	0.22t-CO ₂	75万個口
MROストッカー	3,100t-CO ₂	4t-CO ₂	775件
固定費型物流	3,098t-CO ₂	—	—
在庫保有	1,300t-CO ₂	2.6kg-CO ₂	約50万アイテム
修理工房「直治郎」	2,700t-CO ₂	—	—

F-2.サステナビリティに関する指標②

■トラスコ発電所（太陽光、風力発電）19か所

2022年 年間発電量 2,653,344kWh

再生可能エネルギー電力自給率 16.4%

■「TRUSCO」商品の環境対応

商品企画開発において環境基準を定め、製品設計から商品の使用、廃棄に至るまでの各側面から環境に配慮した商品開発を進めています。既存の商品についても、積載効率の向上や容器梱包に使用する資源の削減を進めています。



TRUSCO Air Forest For Factory
品番:AFF250など

切削油の劣化したにおい等、工場特有のにおい成分を消臭する工場専用消臭剤です。北海道トドマツの森の間伐材を有効活用した「機能性樹木抽出成分」を配合しており、未利用のまま森に残されていた間伐材を活用することで「循環型社会」に貢献する商品です。



■修理工房「直治郎(なおじろう)」売上高

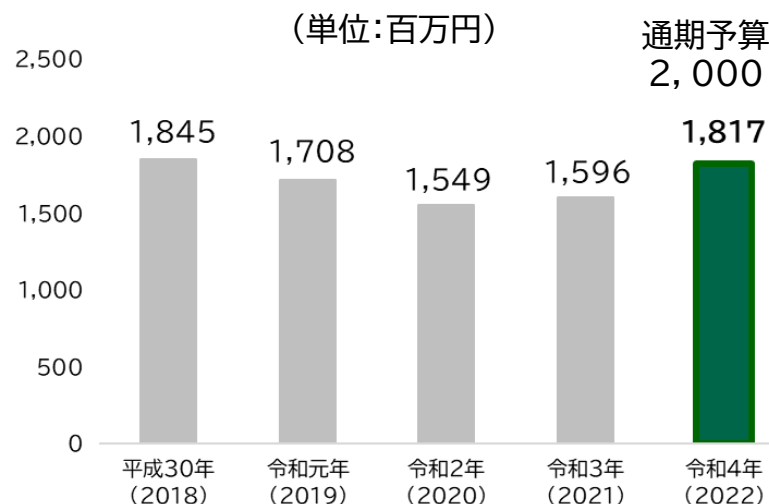


■「直治郎」の役割

プロツールに欠かせない安全性や精度を維持し、使い慣れた工具・設備等を長く使うことで環境負荷を抑えるとともに、コスト削減に貢献することを目的としたサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。

修理工房「直治郎」8つのサービス

修 理	再研磨	校 正	リユース
加 工	メンテナンス	組 立	施工・設置



F-3.その他、環境に係る施策や取り組み



環境への取り組みは「いつからやっているか」が重要です。
当社では、20年以上前から、社屋から一人ひとりの社員、事業施策、商品開発まで多岐に渡って、「やさしさ、未来へ」の想いのもと、環境に配慮した取り組みを行っています。

設備		人
シーリングファン取付	空気井戸ボイド	フリースジャンパー(2002)
人感センサー付蛍光灯	サンドイッチパネル	ゴアテックスジャンパー(2002)
W折板屋根	井戸水の屋根散水(2007)	ネックウォーマ、ひざ掛け(2012)
地下冷気の利用	太陽光パネルの設置(1998)	退社30分前エアコンオフ
施策		商品
在庫化による残業削減	FAX OCR「ドットクル」(2000)	2インチ紙管テープ
物品受領書の廃止(2001)	システム受注(2002)	ノンガススプレー
メーカーカタログの在庫	ピッキングリストの紙出力廃止(2012)	リターンクッション

F-4.社会との関わり・コーポレートガバナンス

■一社提供テレビ番組「TRUSCO 知られざるガリバー」

「世界に誇る日本企業を紹介することで日本に誇りと活力を与えたい」という当社の想いを伝える一社提供番組です。毎回1社ずつ、日本企業の姿や想いをご紹介します。



■INGO団体パシャワール会への寄付

干ばつが進行するアフガニスタンで、「百の診療所より一本の用水路」という思いから総合的農村復興事業の活動をするパシャワール会を支援するために寄付を行っています。

令和2年（2020）開始

故・中村哲医師と
アフガニスタンの職員



■オープンジャッジシステム(OJS=360度評価)

上司だけでなく、同僚や部下からの様々な評価が行われる、当社独自の評価システムです。評価コメントをフィードバックし、各人の行動改革につなげる目的があります。

種類	回数	運営内容
人事考課 OJS	年2回	同じ職場で働く従業員同士(上司、同僚、部下)でOJSを行い人事考課に反映させる
昇格 OJS	年1回	その従業員を知る全社員で評価し、その結果を昇格などの人事の処遇に反映させる

※対象は役員を除く正社員とパートタイマーの全従業員。

■取締役会(経営会議)

原則月1回開催する取締役会において意思決定を行っています。より広い視野と透明性を確保するために、執行役員、部長などの参加者からの意見を広く求める運用をしています。



2022年11月度取締役会(経営会議)の様子

TRUSCO®

G.参考資料

P48 G-1.株式情報

P49 G-2.業界での指数比較

P50 G-3.当社売上高指数・鋁工業生産指数



G-1.株式情報

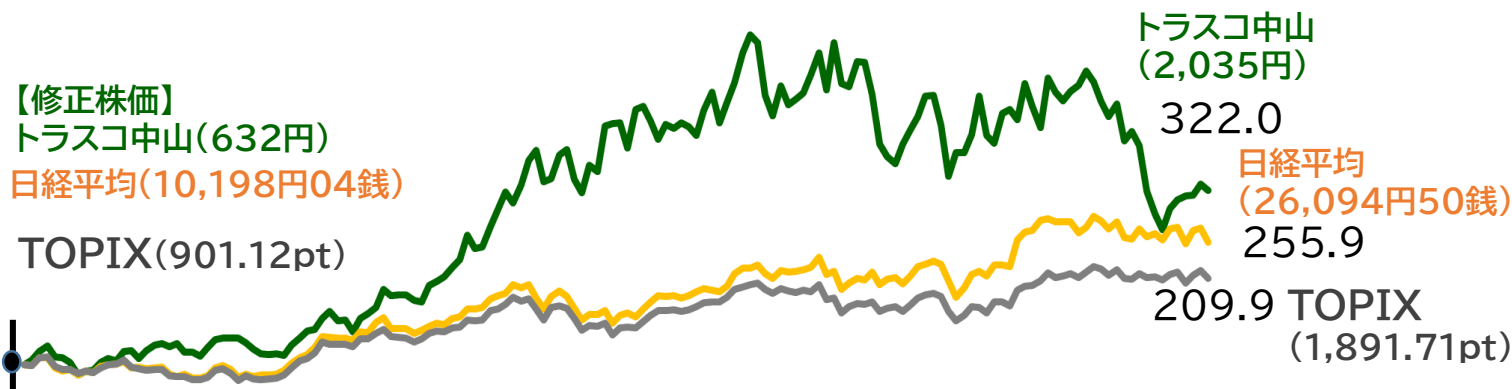
■株主情報

(単位:名)

	令和2年 (2020) 6月末	令和2年 (2020) 12月末	令和3年 (2021) 6月末	令和3年 (2021) 12月末	令和4年 (2022) 6月末	令和4年 (2022) 12月末
株主合計	23,697	16,336	14,903	14,406	16,212	15,466
単元株主	22,887	15,514	14,030	13,527	15,190	14,436
単元未満株主	809	821	872	878	1,021	1,029
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	64	65	69	61	59	55
国内法人	574	553	544	533	546	540
外国法人等	210	201	203	203	212	222
個人その他	22,848	15,516	14,086	13,608	15,394	14,648
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

■株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2023年2月3日(金)

当社株価 終値
2,031円

日経平均株価 終値
27,509円46銭

TOPIX
1,960.26pt

平成22年(2010)1月

令和4年(2022)12月

G-2.業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いはなく、消耗品の取扱いが中心です。

【卸売】		決算月		売上高(百万円)	前年比	時価総額 (億円)
(株)山善	2023年	3月	予想	530,000	+ 5.6	997
ユアサ商事(株)	2023年	3月	予想	490,000	+ 5.9	808
トラスコ中山(株)	2022年	12月	実績	246,453	+ 8.6	1,340
(株)日伝	2023年	3月	予想	130,000	+ 4.9	572
フルサト・マルカHD(株)	2022年	12月	予想	158,000	-	867
(株)NaITO	2023年	2月	予想	48,500	+ 11.2	87
杉本商事(株)	2023年	3月	予想	45,150	+ 4.7	219
7社合計		—		1,648,103	+ 5.7	4,890

【小売】

		決算月				時価総額 (億円)
				売上高(百万円)	前年比	
(株)ミスミグループ	2023年	3月	予想	377,000	+ 3.0	9,363
(株)MonotaRO	2022年	12月	実績	225,970	+ 19.1	10,097
2社合計		—		602,970	+ 22.1	19,460

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。

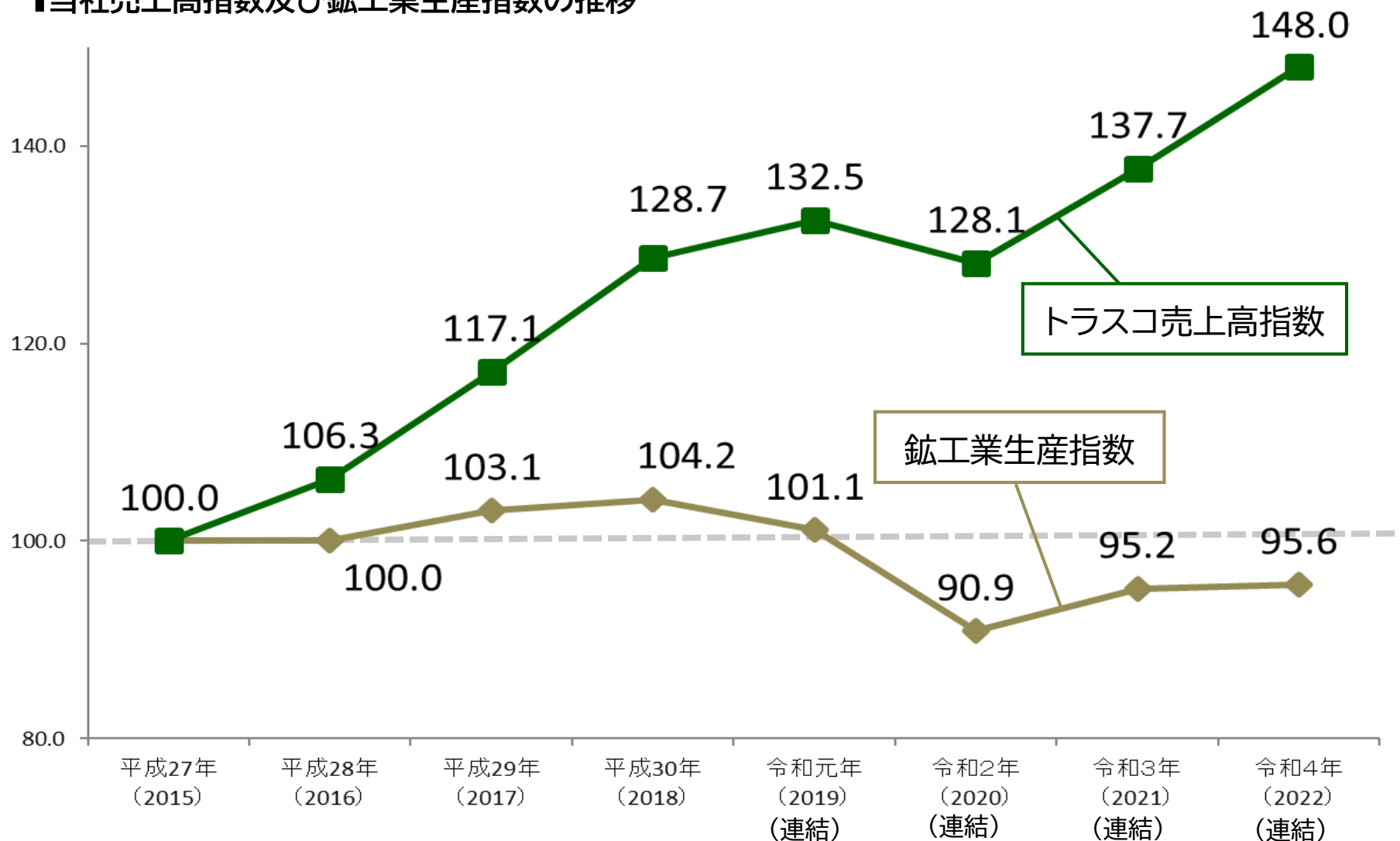
※各数値は令和5

年(2023)2月3日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

※時価総額は、令和4年(2022)12月30日の終値にて記載しています。

G-3.当社売上高指数・鉱工業生産指数

■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする

※鉱工業生産指数は令和5年(2023)1月31日に経済産業省より公表された数値